

(様式第 10)

慶病企発第 27-32 号  
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 慶應義塾  
理事長 清家 篤 (印)

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒108-8345 東京都港区三田二丁目15番45号
氏 名	慶應義塾

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

慶應義塾大学病院
----------

3 所在の場所

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35	電話(03)3353-1211
--------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 呼吸器内科 2 循環器内科 3 消化器内科 4 神経内科 5 腎臓・内分泌・代謝内科 6 血液内科 7 リウマチ内科 8 漢方内科 9 感染症内科 10 腫瘍内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 乳腺外科 3 小児外科 4 心臓血管外科 5 呼吸器外科 6 内視鏡外科 7 移植外科 8 腫瘍外科 9 頭頸部外科 10 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科 3 臨床検査科
------------------------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
31床	0床	0床	0床	1,013床	1,044床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 27 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	657人	56人	683.6人	看 護 補 助 者	115人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	24人	4人	25.5人	理 学 療 法 士	14人	臨 床 検 査 技 師	149人
薬 剤 師	103人	1人	103.1人	作 業 療 法 士	4人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	15人	そ の 他	0人
助 産 師	27人	0人	27.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	1,060人	11人	1,065.0人	臨 床 工 学 士	25人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	0人
准 看 護 師	2人	0人	2.0人	栄 養 士	9人	そ の 他 の 技 術 員	16人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4.0人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	254人
管 理 栄 養 士	16人	0人	16.0人	診 療 放 射 線 技 師	80人	そ の 他 の 職 員	12人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 27 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	57人	眼科専門医	18人
外科専門医	45人	耳鼻咽喉科専門医	16人
精神科専門医	16人	放射線科専門医	34人
小児科専門医	29人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	12人	整形外科専門医	27人
泌尿器科専門医	18人	麻酔科専門医	22人
産婦人科専門医	37人	救急科専門医	11人
		合 計	352人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	719.5人	6.5人	726人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	2,819.5人	167.8人	2,987.3人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	5,204 剤		
必要医師数	230.9人		
必要歯科医師数	1人		
必要薬剤師数	65人		
必要(准)看護師数	462.6人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

## 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	1,258.71 m <sup>2</sup>	RC	病床数	53床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	168m <sup>2</sup> 0台	病床数	21床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	37.8m <sup>2</sup>			
化学検査室	486 m <sup>2</sup>	RC	(主な設備) 分析器など			
細菌検査室	223 m <sup>2</sup>	RC	(主な設備) 分析器など			
病理検査室	286 m <sup>2</sup>	RC	(主な設備) 分析器など			
病理解剖室	162 m <sup>2</sup>	RC	(主な設備) 解剖設備など			
研究室	29,186 m <sup>2</sup>	RC	(主な設備) ドラフトチャンバーなど			
講義室	1,453 m <sup>2</sup>	RC	室数	7室	収容定員	1,391人
図書室	1,734 m <sup>2</sup>	RC	室数	2室	蔵書数	418,600冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

## 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	88.2%	逆紹介率	50.5%
算出 根拠	A: 紹介患者の数	25,499人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,843人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5,666人	
	D: 初診の患者の数	35,332人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 対象症例は、組織学的に浸潤性乳癌と診断された女性(病期Stage～IIIA及びIIIB)で根治手術及び標準的な術前又は術後化学療法が施行された(対象によっては標準的化学療法の省略を可とする)エストロゲン受容体陽性かつHER2陰性で、再発リスクが中間以上である患者とする。本試験に登録された症例は、標準的術後ホルモン療法単独、又は標準的術後ホルモン療法とTS-1の併用療法のいずれかに割り付けられ、両群ともに標準的術後ホルモン療法5年間を実施、併用療法群は標準的術後ホルモン療法と同時にTS-1を1年間投与する。TS-1体表面積及びクレアチニンクリアランスによって規定された投与量を朝食後及び夕食後の1日2回、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬する。これを1コースとして、投与開始から1年間、投与を繰り返す。			
医療技術名	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 局所麻酔または硬膜外麻酔下の小開腹を行い、腹腔ポートを留置する。このポートより、カルボプラチンを腹腔内に直接投与する。また、全身化学療法としてパクリタキセル経静脈内投与を併用する。この化学療法は21日間を1コースとして行い、パクリタキセルは第1日目、第8日目及び第15日目に標準量(80mg/m <sup>2</sup> )を経静脈投与、カルボプラチンを第1日目に標準量(※AUC6 (mg/L)・h)を腹腔内投与し、計6コースを行う。			
医療技術名	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 手術中に得られた組織からPCR法にて抗がん剤耐性遺伝子を測定し、腫瘍に対する抗がん剤の感受性を知ることができる。これに基づいて抗がん剤を使用することにより、より高い効果を得、不必要な副作用を避けることができる。			
医療技術名	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 試験は術前診断T1N0M0、腫瘍長径4cm以下と診断された単発性の早期胃癌症例を対象として、「SNをLN転移の指標とした個別化手術群」を行い、その根治性・安全性を検証する第II相多施設共同単群試験である。すべての症例にSN生検を行い、術中SN転移陰性の場合にはSN流域切除を原則とした縮小胃切除(噴門側胃切除、幽門保存胃切除、胃部分切除、分節切除)を行って「縮小手術群」(A群)とする。流域切除範囲によって縮小手術が困難な場合には従来通りの胃切除術(幽門側胃切除術・胃全摘術)(B群)を実施する。また、SN転移が陽性の場合にはD2LN郭清と定型胃切除(幽門側胃切除術・胃全摘術)(C群)を行う。Primary Endpointは5年無再発生存割合、Secondary EndpointsはSN同定率、転移検出感度、3年無再発生存割合、3年・5年全生存割合、術後QOLとする。Primary Endpointすなわち個別化手術の根治性・安全性の評価は、本試験登録A～C群(個別化手術群)の手術成績とこれまで報告されてきた同じ早期胃癌に対する手術成績を比較し、A群のみの部分集団での予後についてもSecondary Endpointとして同時に検証する。術後QOLに関しては「個別化手術群」内での比較も行う。			
医療技術名	投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 HD-MTX療法後のTMZ併用放射線療法+維持TMZ療法 大量メトトレキサート療法を3コース施行後に、放射線照射との併用にて、テモゾロミドとして1回75 mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を1日1回連日19-26日間、経口投与する。放射線照射終了4週間後より維持療法を追加する。維持療法は、テモゾロミドとして1回150 mg/m <sup>2</sup> を1日1回連日5日間、経口投与し、23日間休薬する。この28日を1コースとする。次コースにおいては増量基準を満たせば200 mg/m <sup>2</sup> に増量する。この維持療法はHD-MTX療法開始日より2年間行って終了とする。			
医療技術名	ゾレドロン酸誘導 $\gamma$ $\delta$ T細胞を用いた免疫療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 2011年2月左S1+2原発の肺腺癌(t4N3M1a)と診断され、2011年4月から10月までゲフィチニブ、以後CBDCS+PEMを3コース、CBDCA+PTXを2コース実施するも、いずれも無効となり、本治療の適応となった。2013年6月13日に同意取得の上培養テストを実施し、 $\gamma$ $\delta$ T細胞の培養を確認の上、7月2日にアフエレーシスを実施してリンパ球を凍結保存した。リンパ球を解凍して $\gamma$ $\delta$ T細胞を培養し、7月16日、8月1日、8月13日、8月27日、9月10日、9月26日と6回の $\gamma$ $\delta$ T細胞の投与を行った。9月10日に実施したCTでは評価病変に変化を認めずSDと判定し、治療を継続予定である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	109人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	118人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	182人	・原発性胆汁性肝硬変	69人
・全身性エリテマトーデス	415人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	50人
・再生不良性貧血	51人	・混合性結合組織病	61人
・サルコイドーシス	59人	・原発性免疫不全症候群	13人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	21人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	315人	・網膜色素変性症	68人
・特発性血小板減少性紫斑病	136人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	31人	・肺動脈性肺高血圧症	96人
・潰瘍性大腸炎	1053人	・神経線維腫症	46人
・大動脈炎症候群	53人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	164人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	101人
・脊髄小脳変性症	42人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	541人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	212人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	11人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	26人
・後縦靭帯骨化症	88人	・肥大型心筋症	42人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	37人	・ミトコンドリア病	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	18人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	75人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	28人	・黄色靭帯骨化症	11人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	92人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・地域歯科診療支援病院入院加算
・臨床研修病院入院診療加算	・特定集中治療室管理料
・救急医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・小児入院医療管理料1
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護職員夜間配置加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・救急搬送患者地域連携受入加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・遺伝カウンセリング加算
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・心臓カテーテル法による諸検査の血液内視鏡検査加算
・高度難聴指導管理料	・植込型心電図検査
・糖尿病合併症管理料	・時間内歩行試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・光トポグラフィー
・院内トリアージ実施料	・神経学的検査
・夜間休日救急搬送医学管理料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・ニコチン依存症管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・がん治療連携計画策定料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・画像診断管理加算1
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算2
・医療機器安全管理料1	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料2	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料	・冠動脈CT撮影加算
・持続血糖測定器加算	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・検体検査管理加算(I)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(IV)	・無菌製剤処理料

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除術)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・歯科口腔リハビリテーション科2	・経皮的大動脈弁置換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療保護入院等診療料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・処置の休日加算1、時間外加算1、及び深夜加算1	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・透析液水質確保加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・CAD/CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ダメージコントロール手術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・体外衝撃波胆石破碎術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・生体部分肝移植術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・網膜再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・同種死体腎移植術

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・膀胱水圧拡張術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管管理料 I	・
・輸血適正使用加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・病理診断管理加算	・
・口腔病理診断管理加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・抗悪性腫瘍剤感受性検査	・
・大腸腫瘍に対する内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・脂肪萎縮症に対するレプチン補充療法	・
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	・
・パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部 年間約80回 中央臨床検査部 週1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 45 例 / 剖検率 13.21%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
別紙1				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計872

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発および評価の実績

## 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	福田 恵一	医学部臨床教室	84,597,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
テニユアトラック普及・定着事業	須田 年生	医学部	24,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
再生NW 再生医療の実現化ハイウェイ 福田 恵一	福田 恵一	医学部臨床教室	189,050,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 再生医療の実現化ハイウェイ 榎村 重人	榎村 重人	医学部臨床教室	69,950,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 再生医療の実現化ハイウェイ 半田 誠	半田 誠	医学部クラスター部門	29,000,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 疾患iPS 岡野 栄之	岡野 栄之	医学部基礎教室	126,000,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 疾患iPS 福田 恵一	福田 恵一	医学部臨床教室	37,000,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 疾患・組織別実用化研究拠点(拠点A) 岡野 栄之	岡野 栄之	医学部基礎教室	290,000,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 疾患・組織別実用化研究拠点(拠点B) 佐藤 俊朗	佐藤 俊朗	医学部臨床教室	33,000,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 疾患・組織別実用化研究拠点(拠点B) 岡野 栄之	岡野 栄之	医学部基礎教室	9,100,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 技術開発個別課題 北川 雄光	北川 雄光	医学部臨床教室	44,851,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
再生NW 技術開発個別課題 洪 実	洪 実	医学部坂口光洋記念講座	53,493,000 円	補 ○ 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
脳科学研究戦略推進プログラム 仲嶋一範(東京医科歯科大学から再委託)	仲嶋 一範	医学部基礎教室	24,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
脳科学研究戦略推進プログラム 里宇明元	里宇 明元	医学部臨床教室	57,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
脳科学研究戦略推進プログラム 岡野栄之	岡野 栄之	医学部基礎教室	40,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
脳科学研究戦略推進プログラム 榎原康文	榎原 康文	理工学部	8,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
革新的技術による脳機能NW 佐々木えりか(理化学研究所から再委託)	佐々木 えりか	研究連携推進本部	94,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
長寿医療研究開発費 増井徹(26-20)	増井 徹	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 ○ 独立行政法人 国立長寿医療研究センター 委 ○
医薬基盤研究所 別役智子	別役 智子	医学部臨床教室	1,700,000 円	補 ○ 独立行政法人医薬基盤研究所 委 ○
公的資金共同研究 KAST&発生分化生物学(松原講師)	松原 由美子	医学部坂口光洋記念講座	9,020,000 円	補 ○ 神奈川県 委 ○
公的資金共同研究 (独)理化学研究所&生理学教室(岡野教授)	岡野 栄之	医学部基礎教室	9,350,000 円	補 ○ 独立行政法人理化学研究所 委 ○
公的資金共同研究 佐喜真義肢(松本教授)	松本 秀男	医学部クラスター部門	2,838,730 円	補 ○ 沖縄県 委 ○
公的資金共同研究 KAST&発生分化生物学[技術開発](松原講師)	松原 由美子	医学部坂口光洋記念講座	2,710,000 円	補 ○ 神奈川県 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
公的資金共同研究(独)理化学研究所&外科学教室(神野准教授)	神野 浩光	医学部臨床教室	600,000 円	補 独立行政法人理化学研究所 委 ○
経産省委託事業(産業技術研究開発)	武林 亨	医学部基礎教室	2,809,455 円	補 経済産業省 委 ○
経産省委託事業(独立行政法人理化学研究所・再委託)	坪田 一男	医学部臨床教室	5,456,378 円	補 経済産業省 委 ○
経産省委託事業(木原記念横浜生命科学振興財団・再委託)	竹内 勤	医学部臨床教室	2,199,999 円	補 経済産業省 委 ○
経産省[関東経済産業局]委託事業(さいたま商工会議所・再委託)	矢作 直久	医学部クラスター部門	1,767,960 円	補 経済産業省 委 ○
経産省委託事業(㈱ゼーレ・再委託)平成26年度健康寿命延伸産業創出事業	加藤 元一郎	医学部臨床教室	1,468,077 円	補 経済産業省 委 ○
経産省[関東経済産業局]委託事業(公益財団法人静岡県産業振興財団・再委託)	貴志 和生	医学部臨床教室	1,176,120 円	補 経済産業省 委 ○
NARO(農研機構)農林水産省委託研究事業(機能性評価コンソーシアム)	坪田 一男	医学部臨床教室	19,900,000 円	補 農林水産省 委 ○
NARO(農研機構)委託研究事業「機能性を持つ農林水産・食品開発プロジェクト」	加部 泰明	医学部基礎教室	15,000,000 円	補 農林水産省 委 ○
NARO(農研機構)委託研究事業「脳機能活性化コンソーシアム」	津川 仁	医学部基礎教室	5,000,000 円	補 農林水産省 委 ○
農林水産省補助金(健康長寿延伸のための食育イニシアチブ協議会予算)	末松 誠	医学部	242,000,000 円	補 ○ 農林水産省 委 ○
センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム 洪 実	洪 実	医学部坂口光洋記念講座	28,462,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム(京都府立医科大学拠点) 三村 将	三村 将	医学部臨床教室	3,039,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究	松尾 光一	医学部共同利用研究室	2,280,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST CREST 柚崎 通介	柚崎 通介	医学部基礎教室	20,410,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 川内 健史	川内 健史	医学部基礎教室	16,445,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST CREST 家田 真樹	家田 真樹	医学部臨床教室	32,591,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 松田 信爾	松田 信爾	医学部基礎教室	2,984,090 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 金田 るり	金田 るり	医学部寄附講座	14,482,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 七田 崇	七田 崇	医学部基礎教室	27,300,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST CREST 洪 実	洪 実	医学部坂口光洋記念講座	92,101,100 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 佐野 元昭	佐野 元昭	医学部臨床教室	15,990,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST さきがけ 房木 ノエミ	房木 ノエミ	医学部臨床教室	33,745,400 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST CREST 吉村 昭彦(H25.10.1付契約課題)	吉村 昭彦	医学部基礎教室	42,900,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○
JST CREST 柚崎 通介(H25.10.1付契約課題)	柚崎 通介	医学部基礎教室	24,700,000 円	補 独立行政法人科学技術振興機構 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
JST さきがけ 杉浦 悠毅(H25.10.1付契約課題)	杉浦 悠毅	医学部基礎教室	24,050,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST CREST 佐谷 秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	13,000,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST CREST 本田 賢也	本田 賢也	医学部基礎教室	5,538,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST CREST 末松 誠	末松 誠	医学部	1,300,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST さきがけ 羽鳥 恵	羽鳥 恵	医学部臨床教室	4,550,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST-ERATO 末松 誠 戦略的創造研究推進事業(ERATO)	末松 誠	医学部	52,193,300 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST先端計測 加部 泰明(JVCケンウッド再委託)	加部 泰明	医学部基礎教室	7,702,500 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST A-STEP 木須 伊織 産学共同促進ステージ シーズ育成タイプ	木須 伊織	医学部臨床教室	6,760,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST A-STEP 北川 雄光 FSステージ シーズ育成タイプ	北川 雄光	医学部臨床教室	1,300,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST A-STEP 岡田 保典 産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ	岡田 保典	医学部	2,600,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST A-STEP 工藤千恵 FSステージ シーズ顕在化タイプ	工藤 千恵	医学部附属先端医科学研究所	1,073,800 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST A-STEP 矢作 直久 FSステージ シーズ顕在化タイプ	矢作 直久	医学部クラスター部門	130,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
JST 日本-カナダ共同研究 洪 実	洪 実	医学部坂口光洋記念講座	11,115,000 円	補助元 独立行政法人科学技術振興機構
成育医療研究開発費 坪田一男(24-1,梅澤班)	坪田 一男	医学部臨床教室	1,000,000 円	補助元 独立行政法人 国立成育医療研究センター
成育医療研究開発費 浜谷敏生(24-6,齊藤班)	浜谷 敏生	医学部臨床教室	1,500,000 円	補助元 独立行政法人 国立成育医療研究センター
成育医療研究開発費 藤野明浩(24-19,野坂班)	藤野 明浩	医学部臨床教室	2,850,000 円	補助元 独立行政法人 国立成育医療研究センター
成育医療研究開発費 黒田達夫(24-19,野坂班)	黒田 達夫	医学部臨床教室	500,000 円	補助元 独立行政法人 国立成育医療研究センター
厚労科研費 半田誠(代表)	半田 誠	医学部クラスター部門	20,658,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 鎌田徹治(半田班)	鎌田 徹治	医学部基礎教室	1,000,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 村田満(代表)	村田 満	医学部臨床教室	29,100,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 池上直己(代表_高齢者)	池上 直己	医学部	8,591,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 藤岡正人(代表)	藤岡 正人	医学部臨床教室	4,795,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 伊藤裕(代表)	伊藤 裕	医学部臨床教室	17,303,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 天谷雅行(代表_アトピー)	天谷 雅行	医学部臨床教室	31,720,000 円	補助元 厚生労働省
厚労科研費 佐渡充洋(代表)	佐渡 充洋	医学部臨床教室	3,280,000 円	補助元 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研費 中村雅也(代表)	中村 雅也	医学部臨床教室	43,225,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 加藤真吾(代表_肝炎)	加藤 真吾	医学部基礎教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡野栄之(代表)	岡野 栄之	医学部基礎教室	46,508,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 佐谷秀行(岡野班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	3,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小崎健次郎(岡野班)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	3,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小川郁(代表_難聴高齢者)	小川 郁	医学部臨床教室	4,700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 三村將(小川班)	三村 將	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 天谷雅行(代表_難治性皮膚疾患)	天谷 雅行	医学部臨床教室	29,300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 加藤真吾(代表_HIV)	加藤 真吾	医学部基礎教室	22,268,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 矢永由里子(加藤班)	矢永 由里子	医学部クラスター部門	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 戸山芳昭(代表_慢性疼痛)	戸山 芳昭	役員	9,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 中村雅也(戸山班)	中村 雅也	医学部臨床教室	7,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 橋口さおり(戸山班)	橋口 さおり	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小杉志都子(戸山班)	小杉 志都子	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小川郁(代表_耳鳴)	小川 郁	医学部臨床教室	8,587,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡村智教(代表)	岡村 智教	医学部基礎教室	30,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 鈴木則宏(代表)	鈴木 則宏	医学部臨床教室	10,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小崎健次郎(代表)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	31,700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 増井徹(小崎班)	増井 徹	医学部クラスター部門	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内勤(代表)	竹内 勤	医学部臨床教室	72,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 河上裕(竹内班)	河上 裕	医学部附属先端医科学研究所	11,250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 佐谷秀行(竹内班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	11,250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 金井隆典(竹内班)	金井 隆典	医学部臨床教室	9,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 佐藤俊朗(竹内班)	佐藤 俊朗	医学部臨床教室	8,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 長沼誠(竹内班)	長沼 誠	医学部クラスター部門	5,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研費 岡野栄之(中井班)	岡野 栄之	医学部基礎教室	21,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 松本守雄(大川班)	松本 守雄	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 中村雅也(大川班)	中村 雅也	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 金井隆典(鈴木班)	金井 隆典	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 緒方晴彦(鈴木班)	緒方 晴彦	医学部クラスター部門	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 別役智子(巽班)	別役 智子	医学部臨床教室	250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 田村雄一(巽班)	田村 雄一	医学部臨床教室	250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 福田恵一(筒井班)	福田 恵一	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 福田恵一(堀江班)	福田 恵一	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 小川郁(宇佐美班)	小川 郁	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 福永興吉(浅野班)	福永 興吉	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡村智教(門脇班)	岡村 智教	医学部基礎教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡村智教(三浦班)	岡村 智教	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内文乃(新田班)	竹内 文乃	医学部基礎教室	50,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 森毅彦(北村班)	森 毅彦	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 佐藤俊朗(石井班)	佐藤 俊朗	医学部臨床教室	1,800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 里宇明元(藤原班)	里宇 明元	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 肥沼悟郎(臼井班)	肥沼 悟郎	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 黒田達夫(臼井班)	黒田 達夫	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 藤野明浩(臼井班)	藤野 明浩	医学部臨床教室	900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 森川康英(臼井班)	森川 康英	医学部臨床教室	250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 高橋勇人(塩原班)	高橋 勇人	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 里宇明元(小長谷班)	里宇 明元	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 鈴木則宏(松井班)	鈴木 則宏	医学部臨床教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 今村知世(渡邊班)	今村 知世	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研費 黒田達夫(三村班)	黒田 達夫	医学部臨床教室	2,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 藤野明浩(三村班)	藤野 明浩	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 森川康英(三村班)	森川 康英	医学部臨床教室	350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡村智教(永井班)	岡村 智教	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 長谷川奉延(柳瀬班)	長谷川 奉延	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 中村雅也(牛田班)	中村 雅也	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 黒田達夫(仁尾班)	黒田 達夫	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 藤野明浩(窪田班)	藤野 明浩	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 鈴木則宏(寶金班)	鈴木 則宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 福田恵一(千住班)	福田 恵一	医学部臨床教室	14,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 房木ノエミ(江良班)	房木 ノエミ	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 坪田一男(西田班)	坪田 一男	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 矢永由里子(岡田班)	矢永 由里子	医学部クラスター部門	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 加藤真吾(杉浦班)	加藤 真吾	医学部基礎教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 末岡浩(後藤班)	末岡 浩	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 末岡浩(河野班)	末岡 浩	医学部臨床教室	130,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 末岡浩(苜原班)	末岡 浩	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 金井隆典(千葉班)	金井 隆典	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 宮越敬(荒田班)	宮越 敬	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 青木大輔(新井班)	青木 大輔	医学部臨床教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 星野健(田口班)	星野 健	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 下島直樹(田口班)	下島 直樹	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 黒田達夫(田口班)	黒田 達夫	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 森川康英(田口班)	森川 康英	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 藤野明浩(田口班)	藤野 明浩	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研費 里宇明元(石黒班)	里宇 明元	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 二木康夫(石黒班)	二木 康夫	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡村智教(寺本班)	岡村 智教	医学部基礎教室	250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 加藤元一郎(飯島班)	加藤 元一郎	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 加藤元一郎(大久保班)	加藤 元一郎	医学部臨床教室	1,068,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 坂元亨宇(金子班)	坂元 亨宇	医学部基礎教室	2,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 大家基嗣(中西班)	大家 基嗣	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内勤(石井班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内勤(住田班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内勤(仲班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 竹内勤(有村班)	竹内 勤	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 志水秀行(宮田班)	志水 秀行	医学部臨床教室	350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 香取信之(宮田班)	香取 信之	医学部臨床教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 船越建(上田班)	船越 建	医学部臨床教室	6,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 佐渡充洋(大野班)	佐渡 充洋	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 中川敦夫(大野班)	中川 敦夫	医学部附属クリニカルリサーチセンター	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 中川敦夫(中込班)	中川 敦夫	医学部附属クリニカルリサーチセンター	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 神崎晶(羽藤班)	神崎 晶	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 岡本真一郎(黒川班)	岡本 真一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 坪田一男(住田班)	坪田 一男	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 古川俊治(平田班)	古川 俊治	大学院法務研究科(法科大学院)	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研費 生方公子(大石班)	生方 公子	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚労科研委託費 金井隆典(代表)	金井 隆典	医学部臨床教室	85,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 長沼誠(金井班)	長沼 誠	医学部クラスター部門	10,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内勤(代表)	竹内 勤	医学部臨床教室	35,975,000 円	補 厚生労働省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研委託費 小崎健次郎(代表)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	6,250,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 佐谷秀行(小崎班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	6,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 有馬好美(小崎班)	有馬 好美	医学部附属先端医科学研究所	2,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 貴志和生(小崎班)	貴志 和生	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 松本守雄(小崎班)	松本 守雄	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 増井徹(小崎班)	増井 徹	医学部クラスター部門	500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 松本守雄(代表)	松本 守雄	医学部臨床教室	20,600,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 中村雅也(松本班)	中村 雅也	医学部臨床教室	300,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 堀内圭輔(松本班)	堀内 圭輔	医学部寄附講座	300,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 宮本健史(松本班)	宮本 健史	医学部臨床教室	300,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 藤野明浩(代表))	藤野 明浩	医学部臨床教室	10,150,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 福田恵一(代表_障害者対策)	福田 恵一	医学部臨床教室	24,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 黒田達夫(代表))	黒田 達夫	医学部臨床教室	22,999,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 青木大輔(代表)	青木 大輔	医学部臨床教室	139,800,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 香坂俊(代表)	香坂 俊	医学部寄附講座	7,968,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 福田恵一(代表_医療機器開発)	福田 恵一	医学部臨床教室	49,400,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 辻哲也(齋藤班)	辻 哲也	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 高橋勇人(阿部班)	高橋 勇人	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 末松誠(松本班)	末松 誠	医学部	4,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 緒方晴彦(松本班)	緒方 晴彦	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 久松理一(松本班)	久松 理一	大学病院診療科	6,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 岡野栄之(青木班)	岡野 栄之	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内勤(住田班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 金井隆典(渡辺班)	金井 隆典	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 佐谷秀行(森班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	7,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚労科研委託費 岡野栄之(高橋班)	岡野 栄之	医学部基礎教室	10,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 坂元亨宇(工藤班)	坂元 亨宇	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内文乃(中川班)	竹内 文乃	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内勤(岩本班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 森岡秀夫(岩本班)	森岡 秀夫	医学部臨床教室	750,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 奥野博庸(田口班)	奥野 博庸	医学部基礎教室	1,700,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内勤(田中班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 竹内勤(仲班)	竹内 勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 金井隆典(仲班)	金井 隆典	医学部臨床教室	3,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 小崎健次郎(松原班)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	7,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 長谷川奉延(深見班)	長谷川 奉延	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 山澤一樹(鏡班)	山澤 一樹	大学病院クラスター部門	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 佐谷秀行(森崎班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	7,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 小崎健次郎(森崎班)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	7,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 山岸敬幸(白石班)	山岸 敬幸	医学部臨床教室	400,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 小崎健次郎(中金班)	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	3,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 増井徹(中金班)	増井 徹	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 半田誠(田野崎班)	半田 誠	医学部クラスター部門	500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 芝田晋介(鈴木班)	芝田 晋介	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 浅村尚生(渡辺班)	浅村 尚生	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 小松浩子(山内班)	小松 浩子	看護医療学部	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 青木大輔(吉田班)	青木 大輔	医学部臨床教室	400,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 北川雄光(土岐班)	北川 雄光	医学部臨床教室	900,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 青木大輔(吉川班)	青木 大輔	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
厚労科研委託費 天谷雅行(玉井班)	天谷 雅行	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 厚生労働省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚生科研委託費 大喜多肇(中川原班)	大喜多 肇	医学部基礎教室	4,500,000 円	補 厚生労働省 委 ○
循環器病研究開発費 岡村智教(22-4-5)	岡村 智教	医学部基礎教室	700,000 円	補 独立行政法人 国立循環 器病研究センター 委 ○
循環器病研究開発費 武林亨(22-4-5)	武林 亨	医学部基礎教室	700,000 円	補 独立行政法人 国立循環 器病研究センター 委 ○
循環器病研究開発費 福田恵一(24-4-2)	福田 恵一	医学部臨床教室	250,000 円	補 独立行政法人 国立循環 器病研究センター 委 ○
循環器病研究開発費 伊藤裕(25-3-1)	伊藤 裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 独立行政法人 国立循環 器病研究センター 委 ○
がん研究開発費 三村將(26-A-2, 津金班)	三村 將	医学部臨床教室	8,000,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 北川雄光(26-A-4, 飛内班)	北川 雄光	医学部臨床教室	500,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 森岡秀夫(26-A-4, 飛内班)	森岡 秀夫	医学部臨床教室	300,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 佐谷秀行(26-A-5, 土井班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	2,000,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 岡本真一郎(26-A-26, 福田班)	岡本 真一郎	医学部臨床教室	200,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 青木大輔(25-A-1, 吉田班)	青木 大輔	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 佐谷秀行(25-A-2, 岡本班)	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	2,000,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 小松浩子(24-A-2, 清水班)	小松 浩子	看護医療学部	200,000 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 浅村尚生(26-A-4, 飛内班)	浅村 尚生	医学部臨床教室	2,921,811 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 浅村尚生(26-A-13, 山田班)	浅村 尚生	医学部臨床教室	600,897 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
がん研究開発費 浅村尚生(26-A-21, 西田班)	浅村 尚生	医学部臨床教室	427,725 円	補 独立行政法人 国立がん 研究センター 委 ○
精神・神経疾患研究開発費 中川敦夫(24-4)	中川 敦夫	医学部附属クリニカルリサーチセンター	4,600,000 円	補 独立行政法人 国立精 神・神経医療研究センター 委 ○
精神・神経疾患研究開発費 吉村昭彦(25-4)	吉村 昭彦	医学部基礎教室	400,000 円	補 独立行政法人 国立精 神・神経医療研究センター 委 ○
精神・神経疾患研究開発費 福田恵一(25-5)	福田 恵一	医学部臨床教室	1,800,000 円	補 独立行政法人 国立精 神・神経医療研究センター 委 ○
精神・神経疾患研究開発費 三村將(26-3)	三村 將	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 独立行政法人 国立精 神・神経医療研究センター 委 ○
オーダーメイド医療 末松誠	末松 誠	医学部	43,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 河上裕	河上 裕	医学部附属先端医科学研究所	45,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 大家基嗣	大家 基嗣	医学部臨床教室	24,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 永野修	永野 修	医学部附属先端医科学研究所	24,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 坂元享宇(東京医科歯科大学から再委託)	坂元 享宇	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 文部科学省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代がん研究 佐藤俊朗	佐藤 俊朗	医学部臨床教室	11,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 佐谷秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	20,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 谷口智憲	谷口 智憲	医学部附属先端医科学研究所	20,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 菊田一貴	菊田 一貴	医学部臨床教室	1,980,000 円	補 文部科学省 委 ○
次世代がん研究 青木大輔	青木 大輔	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
NEDO 業務委託事業（がん超早期診断・治療機器の総合研究開発）	坂元 亨宇	医学部基礎教室	44,000,000 円	補 NEDO 委 ○
NEDO 業務委託事業（京都大学再委託）再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発	岡野 栄之	医学部基礎教室	25,000,000 円	補 NEDO 委 ○
NEDO イノベーション実用化ベンチャー支援事業（㈱アイデアクエスト共同研究）	辻 哲也	医学部臨床教室	3,733,825 円	補 NEDO 委 ○
NEDO 業務委託事業（未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発）（里宇）	里宇 明元	医学部臨床教室	86,899,360 円	補 NEDO 委 ○
NEDO 業務委託事業（未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発）	和田 則仁	医学部臨床教室	16,750,080 円	補 NEDO 委 ○
NEDO 業務委託事業（医療情報の高度利用による医療システムの研究開発）	坂元 亨宇	医学部基礎教室	10,640,000 円	補 NEDO 委 ○
NEDO 業務委託事業（立体造形による機能的な生体組織製造技術の開発）	小林 英司	医学部寄附講座	8,000,000 円	補 NEDO 委 ○
労災疾病臨床研究事業費補助金 武林亨(辻班)	武林 亨	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
労災疾病臨床研究事業費補助金 武林亨(大久保靖司班)	武林 亨	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
大学改革推進等補助金(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)	河上 裕	医学部附属先端医科学研究所	128,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
平成25年度国際化拠点整備事業費補助金(大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業)	岡野 栄之	医学部基礎教室	3,025,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
研究開発施設共用等促進費補助金(先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業)	松尾 光一	医学部共同利用研究室	30,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
課題解決型高度医療人材養成プログラム	北川 雄光	医学部臨床教室	50,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
橋渡し研究加速ネットワークプログラム 佐谷 秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	229,999,690 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
橋渡し研究加速ネットワークプログラム(ネットワーク構築事業) 佐谷 秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	13,712,080 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
橋渡し研究加速ネットワークプログラム(九州大学拠点) 佐谷 秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	30,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
橋渡し研究加速ネットワークプログラム(東北大学拠点) 佐谷 秀行	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	5,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委 ○
厚生労働省委託事業 ヒト幹細胞情報化推進事業	小崎 健次郎	医学部クラスター部門	101,964,343 円	補 厚生労働省 委 ○
受託研究 神経内科&財団法人循環器病研究振興財団(安部専任講師)	安部 貴人	医学部臨床教室	1,798,285 円	補 財団法人循環器病研究振興財団 委 ○
受託研究 財)パブリックヘルスリサーチセンター&消化器内科(金井准教授)	金井 隆典	医学部臨床教室	2,170,000 円	補 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
共同研究 (株)ベネシス&皮膚科学(天谷教授)	天谷 雅行	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 委 ○ 一般社団法人日本血液製剤機構
受託研究 公益財団法人がん集学的治療研究財団 & 一般消化器外科(長谷准教授)	長谷川 博俊	医学部臨床教室	126,000 円	補 委 ○ 公益財団法人がん集学的治療研究財団
受託研究 公益財団法人先端医療振興財団 & 一般消化器外科(和田講師)	和田 則仁	医学部臨床教室	105,000 円	補 委 ○ 公益財団法人先端医療振興財団
臨床研究業務委託 独)国立病院機構三重病院&感染症学(岩田教授)	岩田 敏	医学部基礎教室	20,864,346 円	補 委 ○ 独立行政法人国立病院機構三重病院
共同研究 公益財団法人野口研究所 & 分子生物学(高柳講師)	高柳 淳	医学部共同利用研究室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人野口研究所
受託研究 公益財団法人精神・神経科学振興財団 & 精神・神経科学教室(新村助教)	新村 秀人	医学部臨床教室	500,000 円	補 委 ○ 公益財団法人精神・神経科学振興財団
受託研究 (財)糧食研究会 & 医化学(末松教授)	末松 誠	医学部	2,235,294 円	補 委 ○ 一般財団法人糧食研究会
受託研究 東京都三宅島 & 公衆衛生(大前教授)	大前 和幸	医学部基礎教室	1,749,000 円	補 委 ○ 東京都三宅島三宅村
臨床研究 独)国立病院機構名古屋医療センター & 小児科(嶋田専任講師)	嶋田 博之	医学部臨床教室	108,000 円	補 委 ○ 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
胆道癌術前化学放射線療法としてのTS-1+CDDP+放射線療法の第I/II相試験	板野 理	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人がん集学的治療研究財団
研究会・研修会等援助Asia-ARVO 2015	坪田 一男	医学部臨床教室	250,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 興和生命科学振興財団
VEGF/VEGFR2の血管安定化における役割	久保田 義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 興和生命科学振興財団
CCR9陽性マクロファージのマウス急性肝障害、肝線維化病態への関与	中本 伸宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 黒住医学研究振興財団
難治性卵巣癌の薬剤感受性とゲノム異常に基づいたドラッグリポジショニングの開発	平沢 晃	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 佐川がん研究助成振興財団
110歳超長寿者iPS細胞を用いた疾患抵抗性分子機序の解明	湯浅 慎介	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 細胞科学研究財団
近赤外レーザーの物理的免疫賦活化作用を用いたインフルエンザ粘膜ワクチンの開発	君塚 善文	医学部臨床教室	3,500,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 小児医学研究振興財団
新規に確立した過成長症候群の発症機序の解明と治療法の開発	武内 俊樹	医学部クラスター部門	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 小児医学研究振興財団
資質異常症におけるω-3脂肪酸代謝物バランスの意義と局在の重要性の解明	遠藤 仁	医学部中央診療施設等	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 小野医学研究財団
第10回世界微小循環学会	末松 誠	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
第5回視覚・眼科研究アジ地区開催国際会議	坪田 一男	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
桿体・錐体に次ぐ第三の光受容網膜細胞の機能解析	羽鳥 恵	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
VEGFR2を基軸とした臓器間ネットワークの解明	久保田 義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	5,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
レーザー光の物理的免疫賦活化を用いた粘膜ワクチン	君塚 善文	医学部臨床教室	3,600,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
iPS細胞と脱細胞化・再細胞化技術を用いた子宮再構築	宮崎 薫	医学部臨床教室	3,400,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団
心不全における細胞周期調節因子の果たす役割の解明	橋本 寿之	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念生命科学財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
fMRIによるパーキンソン病の神経ネットワーク解析	関 守信	医学部臨床教室	3,600,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念 生命科学財団
アストロサイトへの直接分化誘導機構の解明	神山 淳	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念 生命科学財団
ユビキチンシステムを標的としたがん微小環境の制御	田中 伸之	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念 生命科学財団
新型CTでの運動器疾患の診断基準確立及び運動機能解明	陣崎 雅弘	医学部臨床教室	15,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 上原記念 生命科学財団
iPS細胞と脱細胞化・再細胞化技術を用いた子宮再構築	宮崎 薫	医学部臨床教室	500,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 神澤医学 研究振興財団
日本最大規模患者サンプルネットワーク構築を通じた肺動脈性肺高血圧症におけるlong non-coding RNAの機能の解明	片岡 雅晴	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 難病医学 研究財団
肺高血圧症に対する遺伝子導入治療法の開発 肺高血圧症に対する遺伝子導入治療法の開発 肺高血圧症に対する遺伝子導入治療法の開発 肺高血圧症に対する遺伝子導入治療法の開発	片岡 雅晴	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 臨床薬理 研究振興財団
統合失調症における時間薬理学	内田 裕之	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人 臨床薬理 研究振興財団
安全かつ効率的な心筋直接リプログラミング法の開発と心臓再生	家田 真樹	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人ノバルティス 科学振興財団
難治性肺動脈性肺高血圧症に対するアデノ関連ウイルスベクターを用いたプロスタサイクリン合成酵素遺伝子導入治療法の開発	片岡 雅晴	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人鈴木謙三記 念医科学応用研究財団
新規アルドステロン(Aldo)産生細胞塊の体細胞変異解析	西本 純嗣郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人鈴木謙三記 念医科学応用研究財団
腸内フローラ改善に根ざした新たな疾患治療法の開発	本田 賢也	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 委 ○ 公益財団法人鈴木謙三記 念医科学応用研究財団
肝炎ウイルス持続感染から肝線維化・発癌に至る免疫学的機序の解明	中本 伸宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 ウイルス肝炎研 究財団
網膜光受容タンパク室メラノプシンを介した視覚以外の光応答の分子基盤	羽鳥 恵	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 井上科学振興 財団
糖尿病性心血管合併症に対する喫煙の影響におけるミネラルコルチコイド受容体の意義	伊藤 裕	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 喫煙科学研究 財団
慢性便秘症に関する神経堤幹細胞移植治療の有用性の検討	藤村 匠	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 三島海雲記念 財団
アルギニンメチル化酵素の局在変化による糖代謝制御機構の解明	山本 雄広	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 住友財団
Cbln1-GluD2シグナリング以上をモデルとした精神疾患症状発現機構の解明	幸田 和久	医学部基礎教室	1,700,000 円	補 委 ○ 財団法人 住友財団
統合失調症様症状の発症予防に関わる抑制性神経細胞の分化制御機構の解明	仲嶋 一範	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 先進医薬研究 振興財団
行動学的・生理学的モニタリングによる客観的うつ病・躁うつ病精神症状の評価	岸本 泰士郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 先進医薬研究 振興財団
血管成熟過程におけるVEGF/VEGFR2シグナルの役割	久保田 義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 千里ライフサイ エンス振興財団
VEGFR2を基軸とした臓器間ネットワークの解明	久保田 義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	5,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 中島記念国際 交流財団
膝腫瘍に対する腹腔鏡下凍結融壊死療法法の臨床応用に向けた基礎的研究	北郷 実	医学部臨床教室	500,000 円	補 委 ○ 財団法人 内視鏡医学研 究振興財団
心臓内視鏡による不整脈治療技術開発	木村 雄弘	医学部寄附講座	500,000 円	補 委 ○ 財団法人 内視鏡医学研 究振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
受容体分子UNC5Dによる発生期大脳皮質における移動神経細胞の制御機構の解明	礪波 一夫	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
シナプス結合の特異性を決定する分子機構の解析	桑子 賢一郎	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
機能的MRI信号の代謝的基盤の解明	高田 則雄	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
上皮間葉転換(EMT)を引き起こす癌ユビキチンシステムの解明	田中 伸之	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
Nr4a2 によるT細胞分化制御を担う分子メカニズムの解明	関谷 高史	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
血中循環型マイクロRNA-221/222 の新規腫瘍マーカーとしての有用性	松崎 潤太郎	医学部中央診療施設等	2,000,000 円	補 財団法人 武田科学振興 委 ○ 財団
Tissue Biology の基盤形成による癌の病態解明と革新的診断・治療法の開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	10,000,000 円	補 ○ 文部科学省
動いて脳を作る細胞群の動態制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	32,890,000 円	補 ○ 文部科学省
発生期網膜における血管先端細胞と神経系細胞のクロストーク	久保田義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	17,550,000 円	補 ○ 文部科学省
幹細胞から神経・グリアへの分化機構解明	島崎琢也	医学部基礎教室	12,610,000 円	補 ○ 文部科学省
ニッチによるがん幹細胞制御機構の解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	31,070,000 円	補 ○ 文部科学省
人工癌幹細胞を用いた治療抵抗性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	31,070,000 円	補 ○ 文部科学省
小脳をモデルとした糖鎖シグナルによる機能的・形態的シナプス可塑性制御	柚崎通介	医学部基礎教室	20,410,000 円	補 ○ 文部科学省
脳梗塞における炎症の鎮静化と組織修復メカニズムの解析	七田崇	医学部基礎教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省
小分子RNAが誘導するエピゲノム形成の分子機構	齋藤都暁	医学部基礎教室	13,650,000 円	補 ○ 文部科学省
多極性-双極性ニューロン変換における中心体の機能	廣田ゆき	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省
蛍光シグナルを用いた膜タンパク質シェディングのイメージング	白壁恭子	医学部基礎教室	5,330,000 円	補 ○ 文部科学省
光遺伝学とマウスfMRIを用いた脳領域間の動的結合特性の解析	高田則雄	医学部寄附講座	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省
微細な組織構築の異常をマイクロエンドフェノタイプとした精神病態の解明	久保健一郎	医学部基礎教室	7,020,000 円	補 ○ 文部科学省
うつ病における神経回路変容の抽出と解析	田中謙二	医学部寄附講座	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省
造血幹細胞ニッチとしての巨核球の機能の解明	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省
血液脳関門のワイヤリング形成における静的秩序獲得機構	菅田浩司	医学部基礎教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省
神経幹細胞の自己複製とneurogenesisに関わる血管内皮分泌因子の解析	並木淳	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省
大脳皮質層形成における細胞分化メカニズム	廣田ゆき	医学部基礎教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省
エキソーム解析における難読領域を標的とする解読法の開発	工藤純	医学部共同利用研究室	5,330,000 円	補 ○ 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
個体脳においてN型糖鎖が樹状突起形成の時空的制御に果たす役割の解明	川内健史	医学部基礎教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳内環境を制御する神経幹細胞の恒常性変化	菅田浩司	医学部基礎教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
GS細胞を用いた雄性エピゲノム形成の分子基盤の解明と新規解析技術の開発	山中総一郎	医学部基礎教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
核及びミトコンドリアにおけるFCoRのエピゲノム情報調節機構の解析	中江淳	医学部寄附講座	8,970,000 円	補 ○ 文部科学省 委
D-セリンーデルタ受容体シグナリングを介する新規グリアーニューロン相互作用の解明	掛川渉	医学部基礎教室	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄および後根神経節グリアにおけるアクアポリン4の役割と神経因性疼痛の病態生理	安井正人	医学部基礎教室	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
核-ミトコンドリア間コミュニケーションによる代謝相互作用の分子機構の解明	山本雄広	医学部基礎教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
老化ストレスシグナルによる腸管上肝細胞制御の解明	佐藤俊朗	医学部臨床教室	21,580,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトIPS細胞と霊長類モデルを用いた治療開発の基盤整備	岡野栄之	医学部基礎教室	31,460,000 円	補 ○ 文部科学省 委
霊長類を含む哺乳動物の生殖エピゲノム形成機構	塩見春彦	医学部基礎教室	55,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
炎症抑制と組織修復を促す細胞シグナルの解明	吉村昭彦	医学部基礎教室	50,700,000 円	補 ○ 文部科学省 委
がん免疫病態の個体差の解明とその制御による個別化がん治療の開発	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	43,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シナプス可塑性を支える新しいAMPA受容体輸送制御機構の解明	柚崎通介	医学部基礎教室	8,450,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗凝固療法、抗血小板療法における新規モニタリング指標の網羅的探索	村田満	医学部臨床教室	9,360,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外来化学療法におけるオンコロジーエマージェンシーの安全ケア質保証統合システム開発	小松浩子	看護医療学部	10,140,000 円	補 ○ 文部科学省 委
病的組織リモデリングにおけるメタプロテアーゼの病理学的研究	岡田保典	医学部基礎教室	10,140,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性炎症による大腸発癌機構の解明	日比紀文	医学部臨床教室	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
たこつぼ型心筋症の分子機序の解明	福田恵一	医学部臨床教室	13,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリオーマ幹細胞・血管内皮細胞の浸潤複合体を標的とする新しい抗浸潤療法の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	13,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿細管糸球体代謝連関とMetabolic Kidney Diseaseの病態解明	伊藤裕	医学部臨床教室	26,650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚自己免疫疾患発症に関する末梢免疫寛容機構の解明	天谷雅行	医学部臨床教室	15,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
片頭痛前兆大脳皮質拡張性抑制が神経障害性疼痛を惹起する脳可塑性と疼痛制御系の解明	鈴木則宏	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト幹細胞培養システムを基盤とした小児重症心不全に対する新規治療法の構築	饗庭了	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素応答のメタボローム解析から新しい虚血再灌流傷害治療法の開発へ	南嶋洋司	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
酸化LDLコレステロールと潜在性動脈硬化症、生活機能の関連についての地域疫学研究	岡村智教	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発癌の機序における線維芽細胞増殖因子の役割と新たな分子標的治療への戦略	別役智子	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体侵襲制御と組織修復・再生における骨髄由来細胞の機能解析	並木淳	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域住民を対象とした生活習慣病疫学研究におけるメタボローム・プロファイル解析	武林亨	医学部基礎教室	3,120,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域住民を対象とした生活習慣病疫学研究におけるメタボローム・プロファイル解析	武林亨	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸内細菌パターン決定因子の同定と腸内細菌パターン戦前化計画	金井隆典	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸内細菌パターン決定因子の同定と腸内細菌パターン戦前化計画	金井隆典	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓拡張機能制御の解明および生体内拡張機能可視化の確立	牧野伸司	医学部寄附講座	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓拡張機能制御の解明および生体内拡張機能可視化の確立	牧野伸司	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞が誘導する経皮液性免疫応答の制御機構	永尾圭介	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞が誘導する経皮液性免疫応答の制御機構	永尾圭介	医学部臨床教室	390,000 円	補 ○ 文部科学省 委
思春期特発性側弯症の進行予測モデルの確立	松本守雄	医学部臨床教室	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
思春期特発性側弯症の進行予測モデルの確立	松本守雄	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋・骨格形成および造血におけるシェディングの機能解析	堀内圭輔	医学部寄附講座	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋・骨格形成および造血におけるシェディングの機能解析	堀内圭輔	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨・骨芽細胞制御による骨恒常性制御	宮本健史	医学部臨床教室	3,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨・骨芽細胞制御による骨恒常性制御	宮本健史	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌における上皮間葉転換に着目した新規標的分子の探索	大家基嗣	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌における上皮間葉転換に着目した新規標的分子の探索	大家基嗣	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症・腺筋症における幹細胞の役割の解明	丸山哲夫	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症・腺筋症における幹細胞の役割の解明	丸山哲夫	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規自己免疫性難聴モデルマウスの解析による革新的な感音難聴治療法の探索	小川郁	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規自己免疫性難聴モデルマウスの解析による革新的な感音難聴治療法の探索	小川郁	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	黒田達夫	医学部臨床教室	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	黒田達夫	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規水素吸入療法による院外心停止患者の予後改善を目指した臨床研究	堀進悟	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
日本および東南アジア諸国にみられる若年性心臓突然死の実態とその原因の解明	藤田眞幸	医学部基礎教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
日本および東南アジア諸国にみられる若年性心臓突然死の実態とその原因の解明	藤田眞幸	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高速AFMを用いた1分子動態観察によるABCトランスポータの動作機構の解明	相馬義郎	医学部基礎教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高速AFMを用いた1分子動態観察によるABCトランスポータの動作機構の解明	相馬義郎	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CD44バリエーション陽性胃がん幹細胞を特異的に検出するPET診断の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CD44バリエーション陽性胃がん幹細胞を特異的に検出するPET診断の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿細管-podocyte細胞連関とその糖尿病性腎症および肥満腎症における意義	脇野修	医学部臨床教室	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿細管-podocyte細胞連関とその糖尿病性腎症および肥満腎症における意義	脇野修	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
1個の造血幹細胞からの自己複製誘導	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	3,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
1個の造血幹細胞からの自己複製誘導	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
動物モデルを用いた先天性心臓流出路異常の予防と新たな治療への基礎的研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
動物モデルを用いた先天性心臓流出路異常の予防と新たな治療への基礎的研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛誘導に向け最適化したヒトiPS細胞由来上皮・間葉系細胞による毛包再生の試み	大山学	医学部臨床教室	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛誘導に向け最適化したヒトiPS細胞由来上皮・間葉系細胞による毛包再生の試み	大山学	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大腸癌に対する血管新生阻害剤の新規作用機序の解明とこれに基づく効果予測法の開発	北川雄光	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大腸癌に対する血管新生阻害剤の新規作用機序の解明とこれに基づく効果予測法の開発	北川雄光	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性神経膠腫におけるOncoantigenの同定と再発予防ワクチンへの応用	戸田正博	医学部臨床教室	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性神経膠腫におけるOncoantigenの同定と再発予防ワクチンへの応用	戸田正博	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非細胞自律的な骨芽細胞活性化メカニズムの解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非細胞自律的な骨芽細胞活性化メカニズムの解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
着床前期胚における「ゲノムの若返り」機構の解明	浜谷敏生	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
着床前期胚における「ゲノムの若返り」機構の解明	浜谷敏生	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗加齢学的アプローチによる涙液分泌制御機構の解明	坪田一男	医学部臨床教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗加齢学的アプローチによる涙液分泌制御機構の解明	坪田一男	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レーザーマイクロダイセクションを用いたマウス胎仔皮膚再生の分子機構の解明	貴志和生	医学部臨床教室	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
レーザーマイクロディセクションを用いたマウス胎仔皮膚再生の分子機構の解明	貴志和生	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カテコラミンによる腸管免疫機構の修飾:腸内細菌叢への効果と機序の解明	森崎浩	医学部臨床教室	5,720,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カテコラミンによる腸管免疫機構の修飾:腸内細菌叢への効果と機序の解明	森崎浩	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質形成におけるエンドサイトーシス経路の「使い分け」の生理的意義と制御機構	川内健史	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質形成におけるエンドサイトーシス経路の「使い分け」の生理的意義と制御機構	川内健史	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規分泌性C1qファミリー分子による機能的シナプス回路形成および記憶学習制御	掛川渉	医学部基礎教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規分泌性C1qファミリー分子による機能的シナプス回路形成および記憶学習制御	掛川渉	医学部基礎教室	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝細胞癌の分子病理学的知見に基づくサブクラス分類の確立	坂元亨宇	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝細胞癌の分子病理学的知見に基づくサブクラス分類の確立	坂元亨宇	医学部基礎教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子改変オルガノイドを用いたヒト大腸がん遺伝子の機能的解析基盤の構築	佐藤俊朗	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子改変オルガノイドを用いたヒト大腸がん遺伝子の機能的解析基盤の構築	佐藤俊朗	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる心筋プログラミングと分子基盤の解明	家田真樹	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる心筋プログラミングと分子基盤の解明	家田真樹	医学部寄附講座	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分泌蛋白質キナーゼの制御機構の解明と関節リウマチ治療への応用	竹内勤	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分泌蛋白質キナーゼの制御機構の解明と関節リウマチ治療への応用	竹内勤	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天奇形症候群の大脳皮質発生異常にエピジェネティクス機構が果たす役割に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天奇形症候群の大脳皮質発生異常にエピジェネティクス機構が果たす役割に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
デスマグレイン3特異的細胞性免疫が誘導する皮膚炎モデルの分子病態の解明	高橋勇人	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
デスマグレイン3特異的細胞性免疫が誘導する皮膚炎モデルの分子病態の解明	高橋勇人	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
表皮バリアの形成・維持機構の解明とバリア構築に関わる新規因子の探索	久保亮治	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
表皮バリアの形成・維持機構の解明とバリア構築に関わる新規因子の探索	久保亮治	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リンパ管腫由来内皮細胞、モデル動物作成	藤野明浩	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳局所脳虚血モデルを用いたNeurovascular Couplingの検討	富田裕	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ガス分子依存性多元的情報伝達系を標的とした脳エネルギー代謝・血流制御機構の解明	梶村真弓	医学部基礎教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
呼吸運動のシミュレーション評価による、胸郭の欠損パターンに応じた最適再建法の解明	永竿智久	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
京レベル抗体ライブラリーの開発とプロテオミクス解析基盤ツールの作製	高柳淳	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超音波励起ラジカル生成を利用したチタン合金ステント内再狭窄抑制法の開発	板野理	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ミトコンドリア分裂因子Drp1のメチル化修飾による細胞機能制御機構の解析	山本雄広	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
哺乳類Mitotic Exit Networkの腫瘍抑制機構解明	國仲慎治	医学部附属先端医科学研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EpCAMIによる癌幹細胞特異的代謝機構の解明及びその阻害による癌治療法の開発	永野修	医学部附属先端医科学研究所	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM28の分子作用機構解明と分子標的治療薬開発の基礎研究	望月早月	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸アメーバ症発症の一因としての腸内細菌産生物質の解析	小林正規	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌関連疾患予測システムの開発と疾患パスウェイの研究	満山進	医学部共同利用研究室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
三叉神経系の疼痛受容が皮質拡張性抑制発生に及ぼす影響の解析と機序の解明	鳥海春樹	理工学部	390,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インジウム健診における肺拡散能検査の有効性の検討	中野真規子	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
老化および老年病の発症と末梢血テロメア長の関連についての包括的疫学研究	新井康通	医学部クラスター部門	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
潰瘍性大腸炎におけるIgG形質細胞の病態関与の解明と新規治療法の開発	久松理一	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
C型肝炎ウイルスと腫瘍ニッチ関連分子による肝癌幹細胞制御機構の解析	足立雅之	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
三次元培養システムを用いたヒト膵癌幹細胞初代培養系の確立	樋口肇	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膵内外分泌幹細胞の同定と膵組織再生における役割	洪繁	医学部坂口光洋記念講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Claudin-1遺伝子改変マウスによるポドサイト脱分化の解析	長谷川一宏	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ES/iPS細胞の腎尿管管への分化誘導系を用いた腎疾患進展機構の解明	門川俊明	医学部医学教育統轄センター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リン負荷による血管石灰化におけるヒストンメチル化修飾異常の役割解明	吉田理	医学部クラスター部門	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
代謝ストレス応答を介したアストロサイトの糖尿病性脳症に対する保護機構の解明	高橋慎一	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸内細菌叢の免疫学的制御による代謝異常治療法の開発	入江潤一郎	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能性RNAにより制御される下垂体内分泌機構の解明	運輸英毅	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチの関節破壊を促進する単球と関節修復に関わる単球の解析	瀬田範行	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フェルトン反応による好中球細胞外捕獲現象制御機構の解明と難治性血管炎治療への応用	平橋淳一	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
重症感染症におけるPGD2/CRTH2を介する免疫機構の解明	石井誠	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大気圧走査電子顕微鏡を用いた肺胞上皮におけるサーファクタント関連蛋白イメージング	松崎陽平	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
非侵襲的脳機能測定法を用いた脳室周囲白質軟化症における認知・発達メカニズムの解明	有光威志	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超早産児の虚血性脳障害に関する新規モデルマウスの確立と病態研究	出口貴美子	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メダカHRAS悪性黒色腫モデルを用いた薬剤スクリーニング系の構築	松崎ゆり子	医学部附属先端医科学研究所	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尋常性天疱瘡抗体の結合による表皮細胞内でのシグナル発生機序の解明	齋藤昌孝	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫のセンチネルリンパ節における免疫病態構築機構の解明と新規治療法の開発	桜井敏晴	医学部附属先端医科学研究所	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚バリア関連200遺伝子の網羅的解読による新規アトピー性皮膚炎原因遺伝子の同定	佐々木貴史	医学部寄附講座	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PI3K/Akt/mTOR経路を標的とする放射線増感剤の開発ー胃癌細胞での検討ー	茂松直之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ケモカインネットワークに着目した食道癌の新しい悪性度診断と治療法の開発	竹内裕也	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
死体心の脱細胞化三次元細胞骨格とヒト胎児由来間葉系細胞を用いた移植心の創造	北原大翔	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺移植後急性肺損傷における血管内皮セレクチン機能の解析	後藤太郎	医学部臨床教室	260,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍新生血管を治療標的としたペプチドワクチン療法確立のための効果評価法の開発	植田良	医学部附属先端医科学研究所	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性骨・軟部腫瘍に対するナノ粒子を用いた新規補助療法の開発	森岡秀夫	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙(ニコチン)が骨代謝に及ぼす影響に関する実験的研究	佐藤和毅	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インターロイキン32の関節疾患における役割とその下流シグナルの解明	二木康夫	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
進行性透析腎症のmTOR阻害薬抵抗性の克服に向けた基礎研究	水野隆一	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト着床における子宮内膜上皮細胞の運動動態の解明と新規着床支援療法の確立	内田浩	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子HOXD9の子宮頸癌における機能解析と新たな治療法の開発	塚崎克己	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣癌の薬物応答に関与する新規バイオマーカーの特定	山上亘	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
婦人科癌転移の特異的糖鎖構造解析と認識糖鎖抗原をターゲットする新規治療抗体の開発	鈴木淳	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌の術後再発予測方法の開発	片岡史夫	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣明細胞腺癌に高発現するHNF-1βによるがん微小環境構築機構の解明	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
トランスレシヨナルリサーチに向けた小型霊長類コモンマーモセットの聴覚障害モデル	藤岡正人	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
白内障手術の全身的健康指標の改善効果	綾木雅彦	医学部臨床教室	390,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚由来多能性前駆細胞から角膜内皮細胞への分化誘導	樺村重人	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
運転者、とくに高齢運転者の安全に関わる視覚機能の解明	根岸一乃	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
ヒトiPS技術を用いた網膜色素変性症に対する新規神経保護治療の開発に向けた研究	小澤洋子	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
光障害に対するアンジオテンシンⅡ1型受容体阻害剤の網膜保護効果の解析	厚東隆志	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
糖尿病網膜症におけるAMPKの役割	持丸博史	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
涙腺細胞における評価系確立を目的とした、涙腺上皮細胞株の樹立	川北哲也	医学部臨床教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
AMPKに着目した涙液分泌機構の解明とその制御	川島素子	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
ヒルシスプルング病および類縁疾患の原因遺伝子解析と神経堤幹細胞移植治療	下島直樹	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
線維芽細胞凝集塊形成による幹細胞形成機構の解明	林瑠加	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
救急医療体制の現状分析と最適化	鈴木昌	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 〇 文部科学省 委
重度外傷・熱傷患者における免疫学的モニタリングによる臓器不全発症の予知	関根和彦	医学部臨床教室	520,000 円	補 〇 文部科学省 委
頬骨骨折の新しい治療プロトコルの開発	緒方寿夫	医学部臨床教室	780,000 円	補 〇 文部科学省 委
日中クレンチングは単に癖ではなく中枢性筋緊張抑制機能障害による	和嶋浩一	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
菌周組織幹細胞からみた慢性歯周炎組織破壊と組織リモデリング機序の解明	中川種昭	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
放射線障害評価に有用なレポーター細胞の開発と幹細胞技術を用いた評価系の確立	今井貴雄	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
対象の相対的関係認知に関する実験的検討	山崎由美子	研究連携推進本部	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
背側海馬と腹側海馬の活性化にตอบสนองする脳領域の特定とその活動解析	高田則雄	医学部寄附講座	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
小脳系神経回路の構造的的特異性を決定する転写制御機構の解析	桑子賢一郎	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
実験用途に応じたNASH肝臓メダカ・マウス・ブタモデルの作成と予防・治療法の開発	相浦浩一	医学部クラスター部門	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
遺伝子発現エントロピー解析による腫瘍不均一性の検証	涌井昌俊	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
難治性溶骨性骨転移のヒト化抗CD26モノクローナル抗体を用いた分子標的療法の開発	西田浩子	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
がん微小環境における芳香族炭化水素受容体AhRの意義解明と治療標的としての評価	塚本信夫	医学部附属先端医科学研究所	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
新しい網羅的遺伝子解析を用いた食道癌化学放射線療法耐性遺伝子の解明	川久保博文	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
大脳皮質形成期における脳室下帯ニューロン移動の分子機構	廣田ゆき	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
ピロリ菌CagAの宿主細胞内安定性を規定する細胞特性の解析	津川仁	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
骨吸収窩における骨形成制御機構の解明	黒田有希子	医学部共同利用研究室	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂質摂取によるLRP1を介した消化管運動調節機構の検討	正岡建洋	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄由来多能性幹細胞の特性解明と再生医療への応用	松岡佐保子	医学部坂口光洋記念講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌の分子標的薬による治療効果の病理学的解析と耐性機構の解明	三上修治	医学部中央診療施設等	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
うつ病および不安障害に対するマインドフルネスの費用対効果研究	佐渡充洋	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レジストリから現場医師へ一循環器侵襲手技の即時型フィードバックシステムの実証研究	香坂俊	医学部寄附講座	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳硬膜の神経原性炎症における三叉神経侵害刺激の関与	清水利彦	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性心筋梗塞患者における再灌流療法遅延のリスクと関連する因子の同定	植田育子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
都市部住民における自己抗体の発現と生活習慣病との関係性の解明	杉山大典	医学部基礎教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
次世代シーケンサーを用いた潰瘍性大腸炎病原ウイルスの同定	松岡克善	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
化学療法抵抗性大腸癌の細胞接着タンパクの破綻とCDX2を介した再分化のメカニズム	船越信介	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫老化への介入による新規循環器疾患治療戦略の確立	新村健	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトPS心筋細胞を用いた遺伝性不整脈疾患の新たな機序の解明と治療への応用	村田光繁	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Characterization of the role of aldehyde dehydrogenase-2 (ALDH2) and the effect of its human mutant allele (ALDH2*2) on airway stem cells function and predisposition to lung diseases	ヒガブアハマド エルサイドムスタファ	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES-iPS細胞から腎尿細管細胞への分化誘導技術の確立および医薬応用	本間康一郎	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規MR転写共役因子CASZ1による高血圧発症メカニズムの解明	横田健一	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シェーグレン症候群治療薬の標的探索	吉本桂子	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチにおける新規低侵襲検査法の開発に関する臨床研究	鈴木勝也	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
強皮症の線維化病態における血小板の役割	安岡秀剛	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
宿主と微生物のmiRNAを介したクロストークの解析	長谷川直樹	医学部クラスター部門	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
服薬コンプライアンス評価法としての毛髪薬物濃度測定法の開発	岩田敏	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒストンメチル化機構の異常が神経幹細胞の細胞分裂動態に与える影響に関する研究	三橋隆行	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ゲノム情報および遺伝子発現に基づく小児Ph染色体陽性白血病の創薬標的候補探索研究	嶋田博之	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓流出路および大動脈弓発生異常に関与する遺伝子と環境因子の影響	前田潤	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
天疱瘡における自己反応性B細胞の活性化機構の解析	山上淳	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アルツハイマー病の精神症状の縦断的变化に関する神経基盤と臨床評価による統合的研究	仲秋秀太郎	医学部寄附講座	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
FDG-PETによる発症前アルツハイマー病診断の有用性に関する研究	田淵肇	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
実質臓器の凍結治療において血流の温度変化に与える影響に関する研究	中塚誠之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超音波照射を用いたフリーラジカルによる創傷治癒及び創感染コントロールの検討	大住幸司	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳がん内における腫瘍細胞の不均一性と転移ニッチの解析	有馬好美	医学部附属先端医科学研究所	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
唾液メタボローム解析による乳癌診断法の確立	神野浩光	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規網羅的スクリーニング法によるサブタイプ別乳癌細胞における薬剤耐性遺伝子の検索	高橋麻衣子	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌における上皮間葉移行(EMT)制御によるリンパ管浸潤抑制の治療応用	和田則仁	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
炎症性腸疾患におけるサーファクタントプロテインD (SP-D)の臨床応用	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
持続的脊髄冷却法による脊髄冷却効果の実験的検討—冷却効率の向上へむけて—	吉武明弘	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
呼吸不全に対するヘモグロビン小胞体を用いた酸素輸液治療	河野光智	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌切除検体の肺静脈血に含まれるストローマ細胞の検出及び解析	神山育男	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における個別化治療の確立(特に術前化学療法の適応確立)	吉田一成	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨代謝におけるc-FosとPPAR $\gamma$ のクロストーク解析	高田伊知郎	医学部共同利用研究室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CRPS動物モデルにおける各種薬剤の末梢浮腫抑制効果	中村俊康	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症の発症・進展における内膜幹細胞の役割とEMT/METの関係の解明	升田博隆	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵子特異的リンカーヒストンによるクロマチンリモデリングと遺伝子初期化誘導	田中守	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌抑制型microRNAを用いた子宮体癌治療～抗癌剤感受性増強とExocure～	阪埜浩司	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂質および糖代謝動態の探索による子宮体癌分子機構の解明	平沢晃	医学部臨床教室	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣癌細胞の抗がん剤耐性における糖脂質の役割の解明	田中京子	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
異所性子宮内膜症から卵巣明細胞癌および類内膜腺癌への悪性転化機構に関する検討	赤羽智子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
MMR異常が高頻度の子宮体癌における腫瘍免疫変化と抗癌剤ホルモン剤感受性との関連	進伸幸	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
婦人科悪性腫瘍のリンパ行性転移の分子基盤の解明	森定徹	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣癌における癌免疫逃避機構の解明及び効果的な免疫治療法の開発	西尾浩	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
感音難聴における時間分解能の測定機器の開発と、時間分解能エンハンス補聴器の開発	岡本康秀	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
バイオマーカーとしての頭頸部癌関連スモールRNA	齋藤康一郎	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
涙腺における局所ステロイド産生とその生理的役割の解明	樋口明弘	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性の病態におけるAngpt2の意義の解析	平沢学	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自己細胞由来血小板成長因子によるパーソナル治療剤の開発	矢澤真樹	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚・創傷におけるversicanの機能解析	荒牧典子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト未固定屍体を用いた顔面の血液還流経路の解析	清水雄介	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能的癌幹細胞マーカーCD44vの発現に基づく口腔扁平上皮癌の治療感受性評価	助生田整治	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
歯周組織幹細胞による組織再生・治癒様式の解析と新規再生療法の開発	森川暁	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトiPS細胞由来再生心筋細胞を用いた難治性不整脈の治療法の開発	藤田淳	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メチオニン代謝の可視化によるがん進展におけるエピゲノム制御機構の解明	久保亜紀子	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
東日本大震災における地元住民によるコミュニティ支援体制の促進・強化について	矢永由里子	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リンパ浮腫の包括的評価法の計量心理学的分析と評価セットの作成に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
短時間の高強度の運動が体脂肪分布、血中代謝指標、脂肪酸分画に及ぼす長軸的な効果	河合俊英	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳微小循環に関わる神経-グリア-血管相互作用におけるアストロサイトの役割の解明	畷川美悠紀	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
補体C1qファミリー分子による海馬CA3シナプス形成と成熟の分子機構解明	松田恵子	医学部基礎教室	3,120,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TCTPIによる神経幹細胞制御機構の解明	大多茂樹	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質層構造の形成を制御する分子機構の解明	久保健一郎	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HMGB1の可溶性受容体(sRAGE)に着目した新たな劇症肝不全治療法の開発	篠田昌宏	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌細胞と宿主免疫の両者を同時にリプログラムする癌根治療法の開発	工藤千恵	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生殖細胞における染色体構築様式とその制御に関する研究	石黒啓一郎	医学部坂口光洋記念講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胆道領域がんの発がん・増殖・進展にかかわる分子機構の解明と臨床治療への応用	尾島英知	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疼痛疾患モデル-一次性感覚ニューロンに認められるミトコンドリア異常の解析	柴田護	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピゲノムの観点からの骨筋筋加齢解析と心血管ホルモンによるミトコンドリアセラピー	宮下和季	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プロテオミクス解析およびバスウェイ解析による新規胃癌バイオマーカーの検討	高石官均	医学部クラスター部門	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DSB-HR食道がん放射線化学療法感受性予測診断システム構築	前畑忠輝	医学部寄附講座	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症潰瘍性大腸炎に対する治療戦略-組織標的プロテオミクス解析による治療効果予測	井上詠	医学部中央診療施設等	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規の遺伝子網羅的解析法による肝細胞癌分子標的薬に対する薬剤耐性遺伝子の同定	阿部雄太	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
特発性心室細動症候群に対する網羅的遺伝子解析	相澤義泰	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上下気道におけるステロイド抵抗性獲得機序の解明	福永興吉	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚バリア機能障害がもたらす気管支喘息におけるIL-23の役割の解明と創薬応用	加川志津子	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非糖尿病・肥満関連腎症の病態生理の解明-早期診断指標、および早期治療介入の確立	徳山博文	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Keap1/Nrf2システムの制御による新たな脳梗塞治療法の開発	安部貴人	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自己抗体を介する炎症性筋疾患の臨床像・筋病理の解析と病態機序の解明	鈴木重明	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
構成的アルドステロン産生に着目した副腎皮質リモデリングの分子機構	向井邦晃	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪幹細胞からのプレ巨核球前駆細胞の同定と特性の解析	松原由美子	医学部坂口光洋記念講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TERT複合体が司る造血幹細胞制御と骨髄機能不全	仁田英里子	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
末梢血単球を標的とした強皮症に対する新規治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
IL-17による肥満細胞の分化と機能制御メカニズム解明	中川竜介	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臨床検査応用を目指した小児慢性期CML に対するフローサイトメトリー法の開発	嶋晴子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺動脈性高血圧症の進展を抑制する細胞内カルシウムシグナルの解明	内田敬子	保健管理センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DNAメチル化制御によるネフロン数減少の治療の試み	粟津緑	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血中のsyndecan-4による新生児慢性肺疾患の予後	池田一成	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SERPINB7の機能解析に基づく長島型掌蹼角化症の病態解明と治療薬開発	塩濱愛子	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乾燥環境下におけるフィラグリン欠損マウスを用いたアトピー疾患発症機序の解明	川崎洋	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ドライブレコーダと脳画像による高齢者の実車運転不安全行動に関する特性の検討	三村将	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高齢精神障害者のサクセスフル・エイジング達成のための心理社会的特性の解明	新村秀人	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
4次元CTによる動態評価の基礎的検討と臨床応用	陣崎雅弘	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
連続寝台移動型PET装置を用いた全身ダイナミック撮影による腫瘍診断に関する研究	村上康二	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
凍結療法に用いる同軸針の改良による凍結範囲の制御についての研究	屋代英樹	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膠芽腫に対する新たな治療戦略の開発-低線量放射線高感受性に関する基礎的検討	梁田淳一	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌におけるペパシズマブの新しい作用機序に基づいた効果予測因子の検証	林田哲	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
miRNAを標的とした食道癌幹細胞の治療法の開発	福田和正	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
人工酵素運搬体によるMMP/ADAMの発現制御により肺移植術後拒絶反応を抑制する	大塚崇	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性胸膜中皮腫に対するゾレドロン酸によるオートファジー誘導薬物療法の開発	朝倉啓介	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞移植による機能的神経回路網再建および悪性脳腫瘍治療法に関する基礎的研究	峯裕	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病を合併した腰部脊柱管狭窄症の病態解明	渡邊航太	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM10を介した骨・軟骨形成の制御機構	依田昌樹	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌に対するmTORG1/2阻害剤を併用した新規抗がん治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿路上皮癌における抗がん剤耐性獲得下の微小環境とユビキチンシステムの解明	田中伸之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞を用いた閉塞性尿路疾患に対する新規治療法の確立	浅沼宏	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝因子解析に基づく日本人妊婦糖尿病の病態解明	宮越敬	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規網羅的スクリーニング法による卵巣癌薬剤耐性遺伝子の検索	野村弘行	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭頸部癌における低酸素誘導因子発現の転移への影響とその臨床応用に関する研究	小澤宏之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
活性型ビタミンD3外用製剤のマイボーム腺機能不全(MGD)治療への応用	有田玲子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
眼慢性移植片対宿主病における老化細胞とドナー間葉系幹細胞の役割と治療法の開発	小川葉子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規ヒルシュブルグ病モデルによる腸管神経ネットワーク形成機序の解明	芝田晋介	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞環境改善による炎症性肺疾患発症の予防と病態改善のための研究	藤島清太郎	医学部	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症に対するβ遮断薬投与の臓器保護効果と機序の解明	鈴木武志	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
難治性顎関節症の客観的病態診断法～中枢性感作の新規バイオマーカー～	村岡渡	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子改変マウスを用いた天疱瘡自己抗体病原性の評価法開発	角田和之	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
歩行周期類似の高周波電気刺激による歩行機能再建とその神経基盤の検討	山口智史	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Biomimetic環境での造血幹細胞の分裂様式解析と培養条件の最適化について	生島芳子	医学部坂口光洋記念講座	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メラノプシンが非視覚応答を担う分子機構の解明	羽鳥恵	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂質メタボロミクスによるアルコール起因性疾患バイオマーカー探索と予防医療への展開	原田成	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
副腎低形成症における新規原因遺伝子の同定とその分子機能の解明	天野直子	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
表皮角化細胞におけるヘムオキシゲナーゼの発現と抗ストレス作用に関する検討	藤田春美	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルドステロン自律産生クラスターにおける体細胞変異の解析	西本結嗣郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子発現による幹細胞からの機能的涙腺の誘導	平山雅敏	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
定量的質量分析イメージング技術の確立による硫化水素依存性虚血脳病態制御機能の解明	菱木貴子	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素センサー-PHD2によるCori回路の新規活性化メカニズムの解明	笠原正貴	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
気象変化による片頭痛発作発症・増悪の要因と対策	岩下達雄	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞抗原および微小環境を標的とした複合的免疫療法の開発	戸田正博	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素応答をターゲットとした新たな心停止後症候群治療法開発への展望	南嶋しづか	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ロボットアームと感覚機能を有した歯科インプラントナビゲーションシステム	臼田慎	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳内の神経細胞の分化方向を人為的に変換させる試み	仲嶋一範	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピゲノム・バックグラウンドの操作による直接リプログラミング効率の改善	小田真由美	医学部坂口光洋記念講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト間葉系幹細胞の心筋誘導因子の同定と誘導効率の改善—新しい免疫細胞の関与—	肥田直子	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルカロイド化合物:ハルミンによる免疫制御機構の解明および免疫疾患への治療応用	木村彰宏	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
T細胞分化制御のシステムバイオロジー	吉村昭彦	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大動物を用いた腸管上皮幹細胞の移植技術確立	佐藤俊朗	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
センダイウイルスベクターを用いた安全かつ効率の良い心筋直接誘導法の開発	家田真樹	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
房室結節の発生機序解明による新規房室ブロック内服治療法の開発	牧野伸司	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CT画像を用いた微小血管解析による肺高血圧の診断	辻村周子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
髄鞘の可視化技術による多発性硬化症の病型分類に関する研究	中原仁	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルツハイマー病モデルマウスを用いたAβ蓄積から神経原繊維変化へ至る機構の解明	阿部陽一郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫の免疫抑制病態に関するシグナル系の体系的解明と臨床応用	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アトピー性皮膚炎における皮膚タイトジャンクションバリア破綻の病的意義の解明	久保亮治	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脱細胞化と再細胞化で子宮を造る	丸山哲夫	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
涙液分泌とエネルギー代謝	坪田一男	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非接着培養で形成される凝集塊の未分化性獲得機構の解明	貴志和生	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
若年女性がん患者の妊孕性温存に関する意思決定支援統合ケアモデルの開発	小松浩子	看護医療学部	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グルコース代謝フラックスの脳内イメージング	杉浦悠毅	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経幹細胞ニッセ可視化システムの開発	神吉浩明	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
次世代色素を用いた光第二高調波イメージングによる生体现象の可視化	塗谷陸生	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
精子形成減数分裂期染色体におけるSINE(B1F)RNAの機能解析	野瀬俊明	先導研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化管内病原細菌特異的排除型新規分子標的療法の確立	鈴木秀和	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
モデル生物を用いた血液脳関門の分子機構の解析	菅田浩司	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アクアポリンの発現と超急速凍結による神経幹細胞の選別と残存未分化iPS細胞の除去	安井正人	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自然癌化モデルを用いた癌化に関与する特異的な代謝機構の解明と治療標的の探索	南嶋洋司	医学部基礎教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボロミクスによる睡眠障害、気分不安障害のバイオマーカー探索と2次予防への展開	武林亨	医学部基礎教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いたSCVTdP疾患概念の構築と新規治療方法の開発	湯浅慎介	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ゲノムワイド関連解析による心肥大感受性遺伝子の探索	佐野元昭	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
3Dバイオプリンターを用いた血管構築を伴った心筋組織の作製	遠山周吾	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞外ATPによる気道免疫寛容の誘導	鈴木雄介	医学部寄附講座	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
難治性喘息における抗炎症性脂質メディエーターの治療応用への可能性	田野崎貴絵	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
特異的転写因子発現による肺細胞への分化誘導法の確立	斎藤史武	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写調節因子を自在誘導できるESバンクを用いた腎尿管ダイレクトリプログラミング	伊藤裕	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ミトコンドリア・ダイナミクスを標的としたグレリンによる慢性腎臓病新規治療戦略	脇野修	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
O-GlcNAc転移酵素による造血幹細胞機能のエピゲノム制御機構	中島秀明	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ETV2を中心とした細胞直接リプログラミングによる血液細胞の作成	森田林平	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インスリン受容体異常症iPS細胞を用いた2型糖尿病治療薬アッセイシステムの確立	中江淳	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
硫化水素による骨代謝制御機構の解明	中村貴	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ミネラルゼーション異常症の新規メカニズムの解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
NMR法を用いた常位胎盤早期剥離の病態解明と新規治療方法の開発	長島隆	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES/iPS細胞由来の内耳細胞を用いた薬剤スクリーニング系の構築	小川郁	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腫瘍幹細胞増殖制御に基づいた横紋筋肉腫治療戦略の開発	黒田達夫	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心停止蘇生後病態における代謝変動、細胞調節機構の解明とこれに基づく新規治療法開発	堀進悟	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オリゴデンドロサイトによる神経回路調節機能	田中謙二	医学部寄附講座	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Phd/VHL/HIF-1 制御系を介した白血病幹細胞の代謝特性解明と標的療法開発	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
髄鞘を標的とした神経変性疾患・脊髄損傷に対する新規治療戦略に関する研究	中原仁	医学部臨床教室	7,280,000 円	補 ○ 文部科学省 委
髄鞘を標的とした神経変性疾患・脊髄損傷に対する新規治療戦略に関する研究	中原仁	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メチル化異常に起因する先天異常症候群においてヒドロキシメチル化が果たす役割の解明	山澤一樹	医学部臨床教室	8,970,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メチル化異常に起因する先天異常症候群においてヒドロキシメチル化が果たす役割の解明	山澤一樹	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管新生の「質」を向上させる創傷治療戦略の開発	久保田義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管新生の「質」を向上させる創傷治療戦略の開発	久保田義顕	医学部附属電子顕微鏡研究室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小分子RNAに誘導されるエピゲノム変化の生化学的解析	山中総一郎	医学部基礎教室	5,330,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小分子RNAに誘導されるエピゲノム変化の生化学的解析	山中総一郎	医学部基礎教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
piRNA生合成の分子メカニズム	齋藤都暁	医学部基礎教室	8,450,000 円	補 ○ 文部科学省 委
piRNA生合成の分子メカニズム	齋藤都暁	医学部基礎教室	5,720,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能的な制御性T細胞のin vitro創出を目指したCD4T細胞分化機構の研究	関谷高史	医学部基礎教室	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能的な制御性T細胞のin vitro創出を目指したCD4T細胞分化機構の研究	関谷高史	医学部基礎教室	3,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
巨核球による造血幹細胞運命制御の解明	石津綾子	医学部総合医科学研究センター	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
巨核球による造血幹細胞運命制御の解明	石津綾子	医学部総合医科学研究センター	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫系-神経系クロストークによる脊髄損傷の病態解明	神山淳	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫系-神経系クロストークによる脊髄損傷の病態解明	神山淳	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮移植による妊孕性再建技術の開発: 霊長類動物を用いた基礎実験と社会の意識調査	木須伊織	医学部臨床教室	7,540,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮移植による妊孕性再建技術の開発: 霊長類動物を用いた基礎実験と社会の意識調査	木須伊織	医学部臨床教室	5,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肥厚性瘢痕モデルにおけるT細胞の機能	坂本好昭	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳組織構築を制御するReelin-Dab1シグナルによる樹状突起形成機構の解明	本田岳夫	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
気圧変化検出に関与する生体部位および分子機構の解明	舟久保恵美	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膵癌における孤在性浸潤の分子機構: 孤在性癌細胞に発現する分子の同定および機能解析	眞杉洋平	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓線維化病態における、肝星細胞のFree cholesterol代謝機構の解明	寺谷俊昭	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
C型肝炎ウイルス特異的CD8T細胞機能不全の網羅的解析	石橋由佳	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
たんぱく質不安定性を呈する新規TSH受容体変異V711fsの機能解析	鳴海覚志	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血中ステロイドー斉測定による超早産児の副腎機能発達の評価	三輪雅之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リポドール塞栓術併用腎癌凍結治療の基礎的研究	井上政則	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト間葉系幹細胞注入による乳房再建法の実現化に向けた基礎的エビデンスの創出	関朋子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臨床検体を用いた顕微質量分析法による消化器癌特異的代謝機構の可視化と解析	田中真之	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄・脳グリオーマに対する分子標的療法の開発	岩波明生	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性骨・軟部腫瘍に対する新規分子標的療法の開発	須佐美知郎	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小胞体ストレス応答経路を介した破骨細胞分化制御機構の解明	東門田誠一	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌におけるmiRNA治療薬の開発および診断への応用	矢野倉恵	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト卵管幹細胞の同定と解析	内田明花	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フェノーム解析を用いた子宮内膜幹細胞マーカーの探索	小田英之	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
涙腺上皮分泌顆粒とドライアイ発症機序	鴨居瑞加	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒルシュブルング病および類縁疾患の原因遺伝子解析と神経堤幹細胞移植治療	藤村匠	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
成体由来幹細胞の分離技術・遺伝子導入技術を用いた歯牙・歯周組織再生	新部邦透	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超急速凍結とアクアポリン発現による幹細胞の選択・濃縮	加藤靖浩	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨細胞融合における新規細胞融合制御因子の解明	岩崎良太郎	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心嚢内視鏡3次元マッピングによるカテーテルアブレーション技術開発	木村雄弘	医学部寄附講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フラボノイド配糖体による脱髄回復効果の分子メカニズムの解明	清和千佳	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
誘導型ヒト人工がん幹細胞を用いたがん再発モデルの構築ならびに再発責任分子の同定	大西伸幸	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EGFR-TKIによる抗腫瘍免疫作用増強を介した新しい治療法の開発	谷口智憲	医学部附属先端医科学研究所	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転移因子を抑制する新規小分子RNA機能の解析	岩崎由香	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Piwiの機能解析を通じたショウジョウバエレトロトランスポゾン発現抑制機構の解明	大谷仁志	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
質量分析法を用いたリボソーム複合体のsemi-in vivo 溶液構造解析	山本竜也	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
変異型エピジェネティクス制御因子による高分化型リンパ腫発症の機構解析	杉原英志	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
がん関連線維芽細胞におけるメタプロテアーゼの機能解析	下田将之	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非穿孔式内視鏡的全層切除とセンチネルリンパ節理論の融合による胃癌低侵襲手術の確立	後藤修	医学部クラスター部門	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓線維化における疾患特異的腸内細菌と腸肝循環マクロファージのクロストーク	中本伸宏	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化器がん幹細胞を標的としたHigh throughput スクリーニング創薬	高野愛	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
多臓器連関から捉えた治療抵抗性高血圧の分子生物学的機序の解明及び新規治療法の開発	荒井隆秀	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患iPS細胞を用いたQT延長症候群における病態生理に基づくリスク層別化の構築	江頭徹	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋梗塞後左室リモデリングにおけるInterleukin-33の役割解明	安西淳	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋分化における長鎖 non-coding RNAの制御機構の解明	西山崇比古	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ストレス応答シグナルであるeIF2 $\alpha$ の心筋での作用および創薬標的分子の開発	西山信大	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いたミトコンドリア病の解析および治療薬開発	小平真幸	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「新規あるいは稀な」EGFR遺伝子変異を有する肺癌の薬剤感受性解析とその臨床応用	安田浩之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子KLF4によるポドサイトのエピジェネティック調節機構の検討と治療への応用	林香	医学部中央診療施設等	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性腎臓病における腸管内環境の変化とその病態に及ぼす影響	吉藤歩	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
パーキンソン病発症に関わるParkinのE3としての新たな役割の解明	久住呂友紀	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
球脊髄性筋萎縮症患者由来iPS細胞の樹立とポリグ ルタミン病の病態研究	二瓶義廣	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CBP機能異常が大脳皮質発生に与える影響に関する研究	大門尚子	医学部寄附講座	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
菌状息肉症モデルマウスの作製と表皮浸潤・転移機構の解析	福田桂太郎	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自閉症スペクトラム障害の生物学的基盤:非罹患同胞との相違に注目して	山縣文	医学部臨床教室	3,120,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小線源治療併用外部放射線治療の線量分布を生物学的に最適化する手法の開発	白石悠	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EPIDとモンテカルロシミュレーションを利用した体内線量分布再構成	武居秀行	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ラパチニブによるE2F1抑制を介した薬剤感受性制御メカニズムと至適併用薬の検討	村田健	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ブタ脱細胞化小腸骨格と小腸オーガノイドを用いた再生小腸グラフトの開発	日比素造	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Atmと血管新生・EMTの関係および微小転移形成メカニズムについて	山田暢	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「細胞集塊型転移」の過程で、癌細胞は線維芽細胞をいかに調教するか？	鈴木繁紀	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌における浸潤・転移とS100A14の機能解析	山内良兼	医学部臨床教室	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
椎間板の恒常性維持及び変性に至る分子生物学的メカニズムの解明	藤田順之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨・造血作動薬による骨・造血系への相互作用	宮本佳奈	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
硬膜外麻酔の癌再発抑制機序の解明	山田高成	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺間質をターゲットとした去勢抵抗性前立腺癌に対する新規分子標的治療薬の開発	矢澤聰	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
難治性前立腺癌におけるAkt経路とアンドロゲン受容体経路の制御による新規治療戦略	石岡桂	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌に対するNVP-BE2235の抗腫瘍効果の検討	松島将史	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌進展過程におけるプロリン異性化酵素Pin1に着目したシグナル伝達の解明	安水洋太	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
GEP100-Arf6-AMAP1 pathway制御による前立腺癌浸潤形質の制御	金子剛	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
5 $\alpha$ 還元酵素阻害剤のステロイドホルモンとメンズヘルスに与える影響	前田高宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CD44を標的とした尿路上皮癌に対する新規治療戦略の確立	萩原正幸	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮頸癌の悪性形質と関連するmicroRNAの同定と新規治療にむけた機能解析	平尾薫丸	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
婦人科癌におけるスタチン投与が腫瘍局所免疫に与える影響	西尾咲子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭頸部癌癌幹細胞における血管内皮細胞増殖因子の微小環境としての働きに関する研究	羽生昇	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
耳鳴モデルにおける病態解明と治療の開発	山田浩之	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内耳ドラッグデリバリーシステムにおけるヒアルロン酸ハイドロゲルの開発	稲垣洋三	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
角膜上皮幹細胞ニッチにおけるメラノサイト幹細胞の役割	宮下英之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞由来神経堤細胞による無瘢痕創傷治癒	安田実幸	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
狭頭症の異常形態形成のメカニズム解析	長島隼人	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
表皮細胞の抗張力反応の解析	加藤達也	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
versican代謝産物—DPEAAE分子の毛周期・発生における機能解析	高田圭以子	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス皮膚の発生と創傷治癒におけるProgranulinとその関連分子の役割	藤井貴子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外傷・熱傷患者の末梢血単球で起こる免疫応答反応の解明	渋沢崇行	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
予期的に分離した歯髄幹細胞のin vivoにおける評価と顎骨壊死治療への応用	安居孝純	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合失調症患者におけるレジリエンスとその生物学的基盤	内田裕之	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規アンジオテンシン受容体ワクテンの開発とその応用性の検討	畔上達彦	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌細胞における miR-375 の浸潤能促進の機序解明	依田聡	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
既存薬剤を用いたPKM2活性剤の探索と癌治療への早期応用戦略	玉田真由美	医学部クラスター部門	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
好中球由来のMMP9を介した急性大動脈解離の発症機構	清水良子	医学部中央診療施設等	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
うつ病に対する認知行動療法の治療抵抗性に関する心理・社会的要因の解明と臨床応用	中川敦夫	医学部附属クリニックリサーチセンター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質層形成機構の解析—移動神経細胞が辺縁帯直下で移動を停止するのは何故か?—	片山圭一	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
樹状突起の脳内での発達機構解明—光遺伝学とイメージングによる新しいアプローチ	竹尾ゆかり	医学部基礎教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞とゲノム編集による脳発達機構の解明:重複遺伝子SRGAP2の視点から	石川充	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
IGF1シグナル経路の調節機構をターゲットとした脳腫瘍幹細胞の新規治療開発	大須賀覚	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規心房特異的遺伝子の転写メカニズム解析と、心房筋精製方法への応用	扇野泰行	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子CDX2を誘導可能なヒトES細胞を用いて腸管上皮細胞を誘導する	中武悠樹	医学部坂口光洋記念講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボローム手法を用いた浸潤性大腸がん細胞のバイオマーカー探索	川島知憲	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
補体分子群によるシナプス除去の新規時空間メカニズム解明	鈴木邦道	医学部基礎教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
隣がんにおけるPrimary ciliaの意義解明:シグナル伝達に着目して	江本桂	医学部中央診療施設等	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インスリン抵抗性発症における腸管マクロファージFoxo1の機能的解析	川野義長	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
栄養メタボロームプロファイリングによる内臓脂肪蓄積に関連する代謝物マーカーの解明	栗原綾子	医学部基礎教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
作業環境測定と血清インジウム濃度によるインジウム化合物の許容濃度設定	岩澤聡子	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SLCO2A1遺伝子変異による小腸潰瘍症のメカニズム追究	島村克好	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ファイブロサイトに注目したクローン病腸管狭窄機序の解明及びその治療方法の開発	徳武美奈	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膵臓癌におけるCD44 isoformの発現解析と可塑性制御因子の探索	新部彩乃	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
食道腺がんのアディポサイトカイン応答におけるmiR-221/222の機能の解明	松崎潤太郎	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM10による腸管腫瘍形成機構の解明	股野麻未	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いた新規動脈硬化抑制因子の探索	楠本大	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
次世代シーケンサーを用いた肥大型心筋症の原因遺伝子探索	谷本陽子	医学部中央診療施設等	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心臓におけるメタボロームイメージングの確立および移植心筋の代謝マップ作製	勝俣良紀	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心血管疾患における脂肪酸バランス制御の意義と機能の解明	遠藤仁	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿酸は肺高血圧症の病態形成において増悪因子なのか？	山本恒久	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EGFR変異陽性肺癌におけるFBXO17の役割の解明	浜本純子	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
赤血球の概日リズムの同調機構の解明	大澤要介	医学部共同利用研究室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
網羅的遺伝子解析手法を用いたゲフィチニブ耐性化機序の解明	寺井秀樹	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙誘導性肺気腫と骨粗鬆症に共通する病態	佐々木衛	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES・iPS細胞由来腎臓・血管前駆細胞と脱細胞化技術の融合による新規腎臓再生	山口慎太郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎筋連関のエピゲノム解析とホルモンを用いた最適治療によるCKD患者の身体能力改善	田蔭昌憲	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非糖尿病・肥満関連腎症における病態生理の解明ー虚血による尿細管間質障害の分析	二木功治	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高血圧SNPをもつ新規MR結合因子Evi1の機能解析と高血圧発症予測における意義	城理絵	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高血圧発症における「塩分メモリー」の存在証明と、その局在および発症機序の検討	小口英世	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いた神経堤症モデルの作製及び神経堤症に対する創薬を目指した病態解明	奥野博庸	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新生児低酸素性虚血性脳症に対する低体温療法の至適化のための包括的代謝解析の研究	武内俊樹	医学部クラスター部門	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌精巢抗原が悪性黒色腫細胞のシグナル伝達と生物活性に及ぼす影響の検討	船越建	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インターフェロンγが悪性黒色腫細胞のAKTシグナルを活性化する機序の検討	種瀬啓士	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
逐次近似画像再構成法を用いた2重エネルギーCTの被ばく低減と画質向上	山田祥岳	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
油性造影剤の比重変化が塞栓術時の生体内における造影剤分布に与える影響に関する研究	塚田実郎	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
拡張現実技術を用いた乳癌手術ナビゲーションシステムの構築	栗原俊明	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌における癌幹細胞を標的とした治療戦略の有効性の基礎的検討	植野華子	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌浸潤転移におけるHOXB9の役割の解明	加藤文彦	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管新生促進作用を持つ末梢動脈用生体吸収性スプリントの開発	松原健太郎	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌細胞と共にリンパ節に転移する原発巣由来ストローマ細胞は転移巣形成を促進する	大竹宗太郎	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PPARγリガンドによる肺移植モデルにおける拒絶反応抑制の検討	重信敬夫	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いた脳梗塞再生医療の臨床実用化に関する研究	大木宏一	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リボソーム合成阻害(核小体ストレス)を介した神経膠腫の新たな治療標的分子の開発	三輪点	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
霊長類(マーマセット)脳梗塞に対するヒトiPS細胞由来神経幹細胞を用いた移植治療	井上賢	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭蓋底脊索腫、軟骨肉腫の分子生物学的解析と新しい鑑別方法の構築	北村洋平	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
薬剤による増殖制御型腫瘍融解ウイルスと神経幹細胞を用いた脳腫瘍治療の研究	長島秀明	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠芽腫幹細胞の代謝特性の解明	サンベトラオルテア	医学部附属先端医科学研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アポトーシスマーカーをターゲットとした尿路上皮癌細胞株での治療戦略の確立	吉峰俊輔	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙による膀胱癌治療への影響の解明と新規治療戦略の検討	弓削和之	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿路上皮癌におけるAx1リン酸化阻害薬の抗腫瘍効果に関する検討	服部盛也	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪酸受容体と内臓脂肪に着目した腎癌進展メカニズムの解明	小幡淳	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
AKR1C3に着目したステロイド生成系制御による難治性前立腺癌の新規治療戦略	江崎太佑	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌のがん幹細胞性遺伝子ネットワークを標的とした新規治療戦略	小坂威雄	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿路上皮癌での新規血管新生調節因子バソヒピンとエピジェネティクス制御機構の解明	宮崎保匡	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞および脱細胞化・再細胞化技術を用いた子宮再構築	宮崎薫	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウスを用いた加齢性耳鳴の検討	大石直樹	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
mTOR signaling・紫外線・抗酸化剤に着目した近視進行抑制効果の比較	鳥居秀成	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
眼慢性移植片対宿主病によるマイボーム腺機能不全の病態解明と治療方針の確立	西條裕美子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子発現プロファイルより導かれたリンパ管腫関連遺伝子の機能解析	加藤源俊	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Scarless wound healingにおけるversicanの役割検討	中村友季恵	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症モデルラットにおける(プロ)レニン受容体阻害薬の有効性に関する検討	岡村明彦	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
7価肺炎球菌結合型ワクチン普及に伴う莢膜型転換と薬剤耐性化加速機構の解明	千葉菜穂子	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
多段階DNAメチル化異常を来す肺がんの新規候補遺伝子解析	佐藤崇	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児肝移植遠隔期におけるグラフト線維化の診断・治療法の確立	富田紘史	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳虚血後に浸潤する血液細胞による神経修復機構の解明	七田崇	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ゲノム情報を中心とする医療ビッグデータの利活用における個人情報保護に関する研究	藤田卓仙	医学部総合医科学研究センター	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト疾患および体質個人差に関するゲノム多様性情報の統合データベース	清水信義	医学部基礎教室	5,700,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ルイボスティーとタクロリムスとの相互作用に関する検討	池谷修	大学病院薬剤部門	1,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委

1/872

合計数 872件

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 2 論文発表等の実績

#### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	別紙2			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
～				
70				
～				

計 91

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

#### (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

【論文発表等の実績】

雑誌名 巻 号 頁	発行年	題 名	発表者氏名	所属部門
J. Steroids Horm. Sci. 5 2 135	2014	Multiple sampling from the central veins with their tributaries can detect bilateral hyperaldosteronism with a cortisol-producing adenoma in a hypertensive patient.	向井 邦晃 他	医学教育統轄センター
J. Clin. Endocrinol. Metab. 99 7 E1431-E1451	2014	Adrenal nodularity and somatic mutations in primary aldosteronism: one node is the culprit?	向井 邦晃 他	医学教育統轄センター
Brain Res 1578 1-13	2014	Increased adenosine levels in mice expressing mutant glial fibrillary acidic protein in astrocytes result in failure of induction of LTP reversal (depotentialiation) in hippocampal CA1 neurons	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Glia 62 1299-1312	2014	Short- and long-term functional plasticity of white matter induced by oligodendrocyte depolarization in the hippocampus	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Int J Neuropsychopharmacol 14 1777-1783	2014	Optogenetic activation of serotonergic neurons enhances anxiety-like behaviour in mice.	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Curr Biol 24 2033-2040	2014	Optogenetic activation of dorsal raphe serotonin neurons enhances patience for future rewards	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Neuron 83 189-201	2014	Hippocampal memory traces are differentially modulated by experience, time, and adult neurogenesis	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Neuron 81 314-320	2014	Optogenetic countering of glial acidosis suppresses glial glutamate release and ischemic brain damage	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
J Neurosci 34 6896-6909	2014	Optogenetic manipulation of activity and temporally controlled cell-specific ablation reveal a role for MCH neurons in sleep/wake regulation	田中 謙二 他	情動の制御と治療寄附講座
Evidence-based Complementary and Alternative Medicine 2014	2014	Long-Term Effects of Goshajinkigan in Prevention of Diabetic Complications: A Randomized Open-Labelled Clinical Trial	大前 和幸 他	衛生学公衆衛生学
Journal of Bone and Mineral Research 29 11 2439-2455	2014	Blockade of CD26 Signaling Inhibits Human Osteoclast Development	西田 浩子 他	病理学
Neurological Sciences 35 8 1299-1302	2014	Optic Nerve Involvement of Waldenström's Macroglobulinemia - with Autopsy Findings	西田 浩子 他	病理学
NATURE IMMUNOLOGY 15 6 571-579	2014	The epigenetic regulator Uhrf1 facilitates the proliferation and maturation of colonic regulatory T cells	本田 賢也 他	微生物学・免疫学
IMMUNITY 41 1 152-165	2014	Foxp3(+) T Cells Regulate Immunoglobulin A Selection and Facilitate Diversification of Bacterial Species Responsible for Immune Homeostasis	本田 賢也 他	微生物学・免疫学
J Forensic Radiol Imaging		Use of post-mortem computed tomography in Disaster Victim Identification. Positional statement of the members of the Disaster Victim	飯野 守男 他	法医学

2	3	2014	Identification working group of the International Society of Forensic Radiology and Imaging; May 2014			
J Forensic Radiol Imaging						
3	3	2014	Asphyxia from choking on a piece of persimmon	飯野 守男	他	法医学
Leg Med (Tokyo)						
16		2014	A case of an infant suffered from a fatal scald injury - validity and limitations of postmortem CT imaging	飯野 守男	他	法医学
Endocr J						
61	2	2014	Lower beta cell function relates to sustained higher glycosylated albumin to glycosylated hemoglobin ratio in Japanese type 2 diabetic patients.	河合 俊英		内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Diabetol Metab Syndr						
6	56	2014	Effect of single tablet of fixed-dose amlodipine and atorvastatin on blood pressure/lipid control, oxidative stress, and medication adherence in type 2 diabetic patients.	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Open Access J Sports Med						
2014	5	2014	Effects of 16-week high-intensity interval training using upper and lower body ergometers on aerobic fitness and morphological changes in healthy men: a preliminary study.	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Int J Endocrinol						
2014	ID302602	2014	Erratum to "Effect of telmisartan or losartan for treatment of non-alcoholic fatty liver disease: FAtty liver protectioN trial by TelmisartAn or losartan StudY (FANTASY)" .	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Int J Endocrinol						
2014	ID703696	2014	Plasma antimicrobial peptide LL-37 level is inversely associated with HDL cholesterol level in patients with type 2 diabetes mellitus.	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Int J Endocrinol						
2014	ID927317	2014	Basal-Supported oral therapy with sitagliptin counteracts rebound hyperglycemia caused by GLP-1 tachyphylaxis.	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
Diabetol Int						
5	1	2014	Factors associated with glycemic variability in Japanese patients with diabetes.	河合 俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
J Infect Chemother						
		2014	Recent trends in pediatric bacterial meningitis in Japan - A country where Haemophilus influenzae type b and Streptococcus pneumoniae conjugated vaccines have just been introduced.	新庄 正宜		小児科学
Clinical Anatomy						
27	3	2014	Surgical anatomy imaging associated with cervical cancer treatment: A cadaveric study.	仲村 勝		産婦人科学
J Obstet Gynaecol Res						
40	6	2014	Clinicopathological study on para-aortic lymph node metastasis without pelvic lymph node metastasis in endometrial cancer	野村 弘行	他	産婦人科学
Mol Clin Oncol						
2	4	2014	A retrospective study on combination therapy with ifosfamide, adriamycin and cisplatin for progressive or recurrent uterine sarcoma	野村 弘行	他	産婦人科学
Genes Chromosomes Cancer						
53	9	2014	Simultaneous analysis of the gene expression profiles of cancer and stromal cells in endometrial cancer	野村 弘行		産婦人科学
Int J Gynecol Cancer						
24	S3	2014	Gynecologic Cancer InterGroup (GFIG) Consensus Review for Clear Cell Carcinoma of the Ovary	野村 弘行	他	産婦人科学
J Obstet Gynaecol Res						
		2014	Hysteroscopic transcervical resection is useful to diagnose myometrial invasion in atypical polypoid adenomyoma coexisting with atypical endometrial hyperplasia or endometrial cancer with suspicious	野村 弘行		産婦人科学

			myometrial invasion			
Int J Clin Oncol	19	6	2014	Pathology-oriented treatment strategy of malignant ovarian tumor in pregnant women: analysis of 41 cases in Japan	野村 弘行	他 産婦人科学
		1074-1079				
Mol Clin Oncol	2	9	2014	Features of ovarian cancer in Lynch syndrome (Review)	野村 弘行	他 産婦人科学
		909-916				
Sci Rep	4		2014	Derivation of human decidua-like cells from amnion and menstrual blood	浜谷 敏生	他 産婦人科学 (産科)
		4599				
Sci Rep			2014	Absence of CD9 reduces endometrial VEGF secretion and impairs uterine repair after parturition	浜谷 敏生	他 産婦人科学 (産科)
J Obstet Gynaecol Res	40	6	2014	Clinopathological study on para-aortic lymph node metastasis without pelvic lymph node metastasis in endometrial cancer.	阪埜 浩司	他 産婦人科学 (婦人科)
		1733-1739				
Molecular and Clinical Oncology	2	4	2014	A retrospective study on combination therapy with ifosfamide, Adriamycin and cisplatin for progressive or recurrent uterine sarcoma.	阪埜 浩司	他 産婦人科学 (婦人科)
		591-595				
Molecular and Clinical Oncology	4	6	2014	Features of Ovarian Cancer in Lynch syndrome (Review).	阪埜 浩司	他 産婦人科学 (婦人科)
		909-916				
J Obstet Gynaecol Res			2014	Hysteroscopic transcervical resection is useful to diagnose myometrial invasion in atypical polypoid adenomyoma coexisting with atypical endometrial hyperplasia or endometrial carcinoma with suspicious myometrial invasion.	阪埜 浩司	他 産婦人科学 (婦人科)
Jpn J Clin Oncol	44	1	2014	Family history and BRCA1/BRCA2 status among Japanese ovarian cancer patients and occult cancer in a BRCA1 mutant case	平沢 晃	他 産婦人科学 (婦人科)
		49-56				
Future Oncol	10	2	2014	A tumor of the uterine cervix with a complex histology in a Peutz-Jeghers syndrome patient with genomic deletion of the STK11 exon 1 region.	平沢 晃	他 産婦人科学 (婦人科)
		171-177				
Mol Clin Oncol	2	6	2014	Features of ovarian cancer in Lynch syndrome (review).	平沢 晃	他 産婦人科学 (婦人科)
		909-916				
J Obstet Gynaecol Res	40	6	2014	Clinicopathological study on para-aortic lymph node metastasis without pelvic lymph node metastasis in endometrial cancer.	平沢 晃	他 産婦人科学 (婦人科)
		1733-1739				
Molecular and Clinical Oncology	3	2	2015	Risk Reducing Surgery in Hereditary Gynecologic Cancer: Clinical Applications in Lynch Syndrome and Hereditary Breast and Ovarian Cancer(Review).	阪埜 浩司	他 産婦人科学 (婦人科)
		267-273				
Mod Rheumatol	24	3	2014	Primary and secondary surveys on epidemiology of Sjögren's syndrome in Japan	小川 葉子	他 眼科学
		464-479				
PLoS One	9	6	2014	Mice lacking inositol 1,4,5-trisphosphate receptors exhibit dry eye.	小川 葉子	他 眼科学
		e99205				
Invest Ophthalmol Vis Sci	56	3	2015	Glutathione Peroxidase 4, a Unique Antioxidant Enzyme, Plays a Role in Protecting Ocular Surface Mucosal Epithelia	小川 葉子	眼科学
		1657-1657				

J Dermatol Sci	74	1	2014	Genetic polymorphisms in the IL22 gene are associated with psoriasis vulgaris in a Japanese population (vol 71, pg 148, 2013)	天谷 雅行	他	皮膚科学
				95-95			
Allergol Int	63	Suppl 1	2014	Dual role of interleukin-23 in epicutaneously-sensitized asthma in mice	天谷 雅行	他	皮膚科学
				13-22			
Br J Dermatol	170	5	2014	The novel SLCO2A1 heterozygous missense mutation p.E427K and nonsense mutation p.R603* in a female patient with pachydermoperiostosis with an atypical phenotype	天谷 雅行	他	皮膚科学
				1187-1189			
J Dermatol	41	5	2014	Use of cyclosporin A for successful management of steroid-resistant Sweet's syndrome patient with possible myelodysplastic syndrome	天谷 雅行	他	皮膚科学
				465-466			
J Dermatol	41	6	2014	Japanese guidelines for the management of pemphigus	天谷 雅行	他	皮膚科学
				471-486			
J Dermatol	41	6	2014	Follicular microhemorrhage: A unique dermoscopic sign for the detection of coexisting trichotillomania in alopecia areata	天谷 雅行	他	皮膚科学
				518-520			
Mod Rheumatol	24	4	2014	Response to hydroxychloroquine in Japanese patients with lupus-related skin disease using the cutaneous lupus erythematosus disease area and severity index (CLASI) (vol 24, pg 701, 2014)	天谷 雅行	他	皮膚科学
				701			
J Dermatol	41	9	2014	Histopathological investigation of clinically non-affected perilesional scalp in alopecias detected unexpectedly spread of disease activities	天谷 雅行	他	皮膚科学
				802-807			
J Dermatol Sci	75	3	2014	The complete type of pachydermoperiostosis: A novel nonsense mutation p.E141* of the SLCO2A1 gene	天谷 雅行	他	皮膚科学
				193-195			
J Allergy Clin Immunol	134	4	2014	Distinct behavior of human Langerhans cells and inflammatory dendritic epidermal cells at tight junctions in atopic dermatitis	天谷 雅行	他	皮膚科学
				856-864			
J Allergy Clin Immunol	134	4	2014	Application of moisturizer to neonates prevents development of atopic dermatitis	天谷 雅行	他	皮膚科学
				824-830			
J Dermatol Sci	76	1	2014	Filaggrin loss-of-function mutations are not a predisposing factor for atopic dermatitis in an Ishigaki Island under subtropical climate	天谷 雅行	他	皮膚科学
				10-15			
J Dermatol	41	11	2014	Detailed clinicopathological characterization of progressive alopecia areata patients treated with i.v. corticosteroid pulse therapy toward optimization of inclusion criteria	天谷 雅行	他	皮膚科学
				957-963			
J Dermatol	41	11	2014	Grading criteria for disease severity by pemphigus disease area index	天谷 雅行	他	皮膚科学
				969-973			
J Dermatol Sci	76	2	2014	An association study of 36 psoriasis susceptibility loci for psoriasis vulgaris and atopic dermatitis in a Japanese population	天谷 雅行	他	皮膚科学
				156-157			
J Dermatol Sci	77	1	2015	Epidermal tight junction barrier function is altered by skin inflammation, but not by filaggrin-deficient stratum corneum	天谷 雅行	他	皮膚科学
				28-36			
J Dermatol				Preface to Journal of Dermatology special issue: pemphigus updates from around the world	天谷 雅行		皮膚科学

42	1	2015				
	2					
J Am Acad Dermatol						
72	1	2015	Definitions and outcome measures for mucous membrane pemphigoid: recommendations of an international panel of experts	天谷 雅行	他	皮膚科学
	168-174					
J Dermatol						
42	3	2015	Case of non-Herlitz junctional epidermolysis bullosa with COL17A1 mutation	天谷 雅行	他	皮膚科学
	323-325					
J Dermatol Sci						
77	3	2015	Message from the former president of JSID: Towards a bright future for JSID	天谷 雅行		皮膚科学
	137-138					
J Dermatol						
42	3	2015	Chronology of confluent and reticulated papillomatosis: Spontaneous regression in a case after long-term follow-up may imply transient nature of the condition	天谷 雅行	他	皮膚科学
	335-336					
Brachytherapy						
13	3	2014	Assessing protection against radiation exposure after prostate (125)I brachytherapy	大橋 俊夫	他	放射線科学 (治療)
	311-318					
Int J Clin Oncol						
19	5	2014	Five-year potency preservation after iodine-125 prostate brachytherapy	大橋 俊夫	他	放射線科学 (治療)
	940-945					
Int J Radiat Oncol Biol Phys						
90	5	2014	A dose-response analysis of biochemical control outcomes after 125I monotherapy for patients with favorable-risk prostate cancer	大橋 俊夫	他	放射線科学 (治療)
	1069-1075					
J Radiother						
2014		2014	Variations in Rectal Volumes and Dosimetry Values Including NTCP due to Interfractional Variability When Administering 2D-Based IG-IMRT for Prostate Cancer	大橋 俊夫	他	放射線科学 (治療)
	7					
Brachytherapy						
14	2	2015	Permanent prostate brachytherapy with or without supplemental external beam radiotherapy as practiced in Japan: Outcomes of 1300 patients	大橋 俊夫	他	放射線科学 (治療)
	111-117					
Abdom Imaging.						
		2014	Retroperitoneal low-flow vascular malformations: characteristic MRI findings correlated with histopathological findings.	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
Jpn J Clin Oncol.						
		2014	The efficacy of preoperative positron emission tomography-computed tomography (PET-CT) for detection of lymph node metastasis in cervical and endometrial cancer: clinical and pathological factors influencing it.	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
J Hepatol.						
61	5	2014	OATP1B3 expression is strongly associated with Wnt/β-catenin signalling and represents the transporter of gadoteric acid in hepatocellular carcinoma.	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
	1080-1087					
Abdom Imaging						
41		2014	Retroperitoneal low-flow vascular malformations: characteristic MRI findings correlated with histopathological findings	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
	2490-2492					
Hum Reprod.						
30	1	2015	Repair of congenital 'disconnected uterus': a new female genital anomaly?	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
	46-48					
Medicine						
94		2015	Renal Cyst Pseudoenhancement: Intra-individual Comparison between Virtual Monochromatic SI and Conventional Polychromatic 120-kVp Images Obtained during the Same CT Examination and Comparisons among Images Reconstructed Using FBP, ASIR and MBIR	奥田 茂男	他	放射線科学 (診断)
	e754					
Mol Cancer						
13	1	2014	Bevacizumab terminates homeobox B9-induced tumor proliferation by silencing microenvironmental communication.	涌井 昌俊	他	臨床検査医学

102				
BMC Cancer 14 291	2014	CC-Chemokine receptor CCR7: a key molecule for lymph node metastasis in esophageal squamous cell carcinoma	高橋 常浩	他 腫瘍センター
World Journal of Surgical Oncology 12 146	2014	Intra-abdominal desmoid tumor mimicking gastric cancer recurrence: a case report	高橋 常浩	他 腫瘍センター
Annals of Surgical Oncology Suppl 3 S356-S364	2014	EpCAM, a potential therapeutic target for esophageal squamous cell carcinoma	高橋 常浩	他 腫瘍センター
PLoS One 9 e107613	2014	Antitumor effect of the tyrosine kinase inhibitor nilotinib on gastrointestinal stromal tumor (GIST) and imatinib-resistant GIST cells	高橋 常浩	他 腫瘍センター
Disease Esophagus 27 654-661	2014	Clinical significance of plasma fibrinogen level as a predictive marker for postoperative recurrence of esophageal squamous cell carcinoma in patients receiving neoadjuvant treatment	高橋 常浩	他 腫瘍センター
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 62 560-566	2014	Optimal surgical management for esophagogastric junction carcinoma	高橋 常浩	腫瘍センター
Annals of Surgical Oncology 21 2987-2993	2014	Suitability of sentinel node mapping as an index of metastasis in early gastric cancer following endoscopic resection	高橋 常浩	他 腫瘍センター
World Journal of Surgical Oncology	2014	A case of late lymph node metastasis after three endoscopic mucosal resections of intramucosal gastric cancers	高橋 常浩	他 腫瘍センター
Annals of Surgical Oncology 22 302-310	2015	Cumulative prognostic scores based on plasma fibrinogen and serum albumin levels in esophageal cancer patients treated with transthoracic esophagectomy: comparison with the Glasgow prognostic score	高橋 常浩	他 腫瘍センター
Anticancer Research 35 467-471	2015	Phase I Study of S-1 plus Fractional Cisplatin as Adjuvant Chemotherapy for Advanced Gastric Cancer in an Outpatient Setting (KOGC-03)	高橋 常浩	他 腫瘍センター
Annals of Surgical Oncology 22 704-705	2015	What factors are necessary for the safe and feasible performance of total gastrectomy?	高橋 常浩	他 腫瘍センター

11/91

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師などが主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計数 91件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ・ 人を対象とする医学系研究に関する標準業務手順書 ・ 人を対象とする医学系研究における安全性情報の取り扱いに関する標準業務手順書 ・ 人を対象とする医学系研究に関する個人情報保護ガイドライン ・ 人体から取得された試料および情報等の保管に関する標準業務手順書 ・ 人を対象とする医学系研究に関する慶應義塾大学医学部倫理委員会標準業務手順書 ・ 臨床研究に関する慶應義塾大学医学部倫理委員会標準業務手順書 ・ 臨床研究における安全性情報の取り扱いに関する手順書 ・ 臨床研究に関する個人情報保護ガイドライン ・ 臨床研究に関する標準業務手順書 ・ 慶應義塾大学医学部倫理委員会内規	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ・ 慶應義塾利益相反マネジメントポリシー ・ 慶應義塾利益相反マネジメント内規 ・ 慶應義塾大学医学部利益相反マネジメント内規	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 2回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容</li><li>・ 医学研究における倫理、研究倫理指針、研究不正など研究の倫理性、公正性、科学性の確保に必要な基本知識と最新知識に関する講習会やセミナーを実施した。このほかに、インターネット上に臨床研究e-learningを開講し、常時受講できる体制をとっている。</li></ul>	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・臨床カンファレンス、セミナーの開催、特に慶應総合診療グランドラウンドを開催し双方向式な議論の展開によりEBMへのアプローチを明確化</li><li>・大学病院と地域の教育病院間のインターネットを用いた遠隔カンファレンス・セミナーの開催</li><li>・臨床カンファレンス及びセミナーでの講演内容のオンサイトによる録画の上、ストリーミング配信システムから配信</li><li>・高度な臨床スキルや手術的技能の習得のために、手術を含む種々の臨床手技シミュレーションを実践できるeラーニングコンテンツの提供</li><li>・EBM教育のために必要な電子雑誌の提供</li><li>・専門医療技術の習得、医療安全の向上を図るための医療シミュレーター機器を用いた専門臨床研修会の開催</li><li>・Cadaverを用いたクリニカル・アトミーラボ（臨床解剖ラボ）での高度な専門診療技術の修得と基本手技を含む高度な手術手技の熟練および臨床スキル向上を目的とするセミナーの開催”</li></ul>
--

2 研修の実績

研修医の人数	239 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
鈴木 則宏	内科、神経内科	教室主任・診療科部長・教授	38年3ヶ月	内科統括
河野 隆志	内科	専修医担当主任・助教	17年4ヶ月	内科統括
福田 恵一	循環器内科	診療科部長・教授	32年0ヶ月	
別役 智子	呼吸器内科	診療科部長・教授	26年4ヶ月	
金井 隆典	消化器内科	診療科部長・教授	27年3ヶ月	
伊藤 裕	腎臓・内分泌・代謝内科	診療科部長・教授	32年4ヶ月	
林 晃一	腎臓・内分泌・代謝内科	准教授	34年9ヶ月	
河合 俊英	腎臓・内分泌・代謝内科	専任講師	22年4ヶ月	
岡本 真一郎	血液内科	診療科部長・教授	36年3ヶ月	
中島 秀明	血液内科	准教授	28年3ヶ月	
竹内 勤	リウマチ内科	診療科部長・教授	34年9ヶ月	
吉田 一成	外科、脳神経外科	教室主任・診療科部長・教授	34年10ヶ月	外科統括
林田 哲	外科	専修医担当主任・助教	15年5ヶ月	外科統括
北川 雄光	一般・消化器外科	診療科部長・教授	29年3ヶ月	
黒田 達夫	小児外科	診療科部長・教授	33年4ヶ月	
志水 秀行	心臓血管外科	診療科部長・教授	29年4ヶ月	
浅村 尚生	呼吸器外科	診療科部長・教授	32年4ヶ月	
森崎 浩	麻酔科	教室主任・教授	32年3ヶ月	
戸山 芳昭	整形外科	教授	40年3ヶ月	
松本 守雄	整形外科	教室主任・診療科部長・教授	29年3ヶ月	
貴志 和生	形成外科	教室主任・診療科部長・教授	27年3ヶ月	
高橋 孝雄	小児科	教室主任・診療科部長・教授	33年3ヶ月	
田中 守	産科	診療科部長・教授	29年4ヶ月	
青木 大輔	婦人科	教室主任・診療科部長・教授	33年4ヶ月	産婦人科統括

坪田 一男	眼科	教室主任・診療科部長・教授	34年9ヶ月	
天谷 雅行	皮膚科	教室主任・診療科部長・教授	30年3ヶ月	
大家 基嗣	泌尿器科	教室主任・診療科部長・教授	28年4ヶ月	
小川 郁	耳鼻咽喉科	教室主任・診療科部長・教授	33年9ヶ月	
三村 將	精神・神経科	教室主任・診療科部長・教授	31年3ヶ月	
陣崎 雅弘	放射線診断科	診療科部長・教授	28年3ヶ月	
茂松 直之	放射線治療科	教室主任・診療科部長・教授	32年3ヶ月	放射線科統括
中川 種昭	歯科口腔外科	教室主任・診療科部長・教授	30年2ヶ月	
里宇 明元	リハビリテーション科	教室主任・診療科部長・教授	36年4ヶ月	
堀 進悟	救急科	教室主任・診療科部長・教授	40年3ヶ月	
亀山 香織	病理診断部	部長・准教授	27年3ヶ月	
村田 満	臨床検査医学	教室主任・部長・教授	33年10ヶ月	
半田 誠	輸血・細胞療法センター	センター長・診療部長・教授	39年2ヶ月	
三村 將	漢方医学センター	センター長・診療部長・教授	31年3ヶ月	
松本 秀男	スポーツ医学総合センター	センター長・診療部長・教授	37年2ヶ月	
林 松彦	血液浄化・透析センター	センター長・診療部長・教授	38年3ヶ月	
岩田 敏	感染制御センター	センター長・診療部長・教授	39年3ヶ月	
林 松彦	総合診療教育センター	部長・教授	38年3ヶ月	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 竹内 勤
管理担当者氏名	病院事務局長 本田 博哉 総務担当次長 朝倉 崇 薬剤部次長 山口 雅也

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療事務室	診療記録として保管している記録は、 ・紙媒体⇒一患者一番号制で外来、入院別に分けて集中管理を実施 ・電子媒体⇒情報システム内にて、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った管理を実施
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医療事務室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究支援課本部	
	高度の医療の研修の実績	専修医研修センター	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療事務室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療事務室 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御センター	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室 (患者サポートセンター)	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医療安全対策室
	第二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医用工学センター
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学センター	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務局長 本田 博哉	
閲覧担当者氏名	医療事務室長 鈴木 敏夫	
閲覧の求めに応じる場所	1号棟2階相談室 中央病歴室閲覧室	
閲覧の手続の概要		
<ul style="list-style-type: none"><li>・診療に関するもの⇒当院規定の開示手続きによる</li><li>・病院管理および運営に関するもの⇒状況に応じ対応</li></ul>		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
指針の主な内容：医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資すること。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回(8月を除く)
活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療事故を未然に防止するための効果的な院内体制の確立</li><li>・ 院内において発生したアクシデント及びインシデントについての情報の収集</li><li>・ アクシデントやインシデントに関する資料の収集ならびに分析</li><li>・ 医療事故防止のための具体的対策の検討及び推進</li><li>・ 医療事故防止のための研修及び教育</li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	定例年4回：臨時年6回
研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全管理体制、報告書の集計分析、医薬品の安全使用、医療機器安全使用</li><li>・ AED について</li><li>・ 院内で発生した事例</li><li>・ 医療倫理</li><li>・ 児童虐待防止</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (①・無 ) その他の改善のための方策の主な内容： 事故報告書は電子カルテにソフトを導入し、全教職員が使用できる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 報告ルート：報告者 →部門セーフティマネジャー →医療安全管理者 →医療安全対策室長・病院長</li></ul> 改善のための方策立案 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬剤に関する医療安全検討委員会</li><li>・ 薬剤 WG (持参薬、糖尿病治療薬、抗血小板薬の休薬、アレルギー情報、マニュアル整備、麻薬取り扱い)</li><li>・ 安全WG (呼吸管理、侵襲的処置 (血管内・外) 身体抑制、救急カート、肺血栓塞栓予防、)</li></ul>	

⑤ 専任の医療にかかる安全管理を行うものの配置状況	④ (1名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	④ (1名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④ ・無
<p>所属職員： 専従2名 専任4名 兼任6名  活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理部門の業務指針及び、医療安全管理者業務に関する申し合わせに準じて業務を遂行。</li> <li>・ 教職員への安全管理に関する教育・指導（研修会の開催）ならびに検証</li> <li>・ 安全対策の企画・立案、重大医療事故発生時の対応ならびに検証</li> <li>・ 院内安全対策委員会・安全管理に係わるWGの運営</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④ ・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
指針の主な内容： ①院内感染対策に関する基本的な考え方 ②感染制御センターの設置 ③感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置 ④職員研修 ⑤院内感染状況の報告 ⑥院内感染発生時の対応 ⑦患者への情報提供と説明 ⑧病院における院内感染対策の推進	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 18 回
活動の主な内容： ・感染対策運営委員会（月 1 回、年 1 2 回開催） ・感染専門委員会（隔月、年 6 回開催） 感染対策運営委員会は、感染制御センター（ICT）による病院感染に関する報告を受け、同センターが提言する病院感染対策に関わる具体的施策等を審議し、感染制御センターに対して助言を行う。 感染専門委員会は、感染制御センターが報告または策定し、運営委員会で報告または承認された感染防止に関わる施策等を、病院内のすべての部署に周知し、対策等を迅速かつ確実に実施する。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
研修の主な内容： 感染対策講習会、全教職員対象 講習会当日に参加できない教職員のため、録画した映像を基にeラーニングを実施している。 医療従事者のワクチン接種の意義、院内における感染症・耐性菌などの発生状況、他施設でのアウトブレイク事例、培養検体の適切な採り方、教職員のウイルス抗体価、特定抗菌薬について、院内の耐性菌対策 など	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） その他の改善のための方策の主な内容： ① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液曝露 ② ウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用、（週 2 回） 病棟・外来・その他の施設環境（週 1 回） スタンダードプリコーション・教職員意識調査（年数回） ③ 院内周知確認及び自己チェック（eラーニング）	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	④・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
研修の主な内容：別紙3	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
手順書の作成 ( ④・無 ) 業務の主な内容： ・ 手順書の内容をもとに作成した、業務チェックシートを用いた実施状況の確認 (2回/年) (直近の確認日 2015年5月11日) ・ チェックシートの内容をもとに病棟・外来のラウンド (2回/年) (直近の確認日 2015年6月2日)	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
医薬品に係る情報の収集の整備 ( ④・無 ) その他の改善のための方策の主な内容：別紙4、別紙5	

## 医薬品の安全使用のための研修の実施状況

平成 26 年 4 月

研修医・専修医オーダーリングトレーニング（参加人数：162 名）

4 月 1 日から 4 月 9 日の 7 日間実施

「処方薬剤入力について」（内・外用薬処方入力、点滴処方入力など）

平成 26 年 4 月

研修医注射点滴調製研修（参加人数：32 名） 4 月 15 日から 5 日間実施

「処方入力時の注意と点滴調製の手技」

平成 26 年 6 月

院内安全対策セミナー（参加人数：713 名） 必須セミナー 6 月 10 日実施

「医薬品のより安全な使用に向けて」

平成 26 年 11 月

院内安全対策セミナー（参加人数：191 名） 11 月 18 日実施

「医薬品を安全に使用するために～薬剤に関する事例報告～」

平成 27 年 2 月

看護師注射点滴調製研修（参加人数：106 名） 2 月 25 日実施

「薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習」

平成 27 年 4 月

研修医・専修医オーダーリングトレーニング（参加人数：199 名）

4 月 1 日から 4 月 6 日の 6 日間実施

「処方薬剤入力について」（内・外用薬処方入力、点滴処方入力など）

平成 27 年 4 月

研修医注射点滴調製研修（参加人数：38 名） 4 月 13 日から 5 日間実施

「処方入力時の注意と点滴調製の手技」

平成 27 年 5 月

第 9 回チーム医療推進セミナー（参加人数：153 名） 5 月 27 日実施

「チーム医療を支える薬剤師業務」

平成 27 年 6 月

第 52 回院内安全対策セミナー（参加人数：895 名） 必須セミナー 6 月 2 日実施

「医薬品の安全使用について」

平成 27 年 7 月

第 53 回院内安全対策セミナー（参加人数：375 名） 7 月 24 日実施

「医薬品の安全使用に関する事例報告」

医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施

➤ 医薬品に係わる添付文書等の収集

【収集方法を具体的に記入】

- 「緊急安全性情報」、「医薬品・医療機器等安全性情報」は、電子ファイルを公的機関のウェブサイト等よりダウンロードし、薬剤部内イントラネットに保管・掲載する。
- 医薬品添付文書、インタビューフォーム、製品情報概要、使用上の注意の解説、各種文献、問い合わせの回答などの情報は、医薬品別ファイルにファイリングする。
- 製薬会社より添付文書等の改訂情報を得た場合には、医薬品別ファイル内の資料を最新版へ差し替える。
- 各種情報サービスにより得られた添付文書改訂情報に基づき、最新の添付文書及び改定案内が製薬会社より届いていないものは適宜リストアップし、製薬会社に請求する。
- 添付文書、インタビューフォーム等の改訂情報について、年1回程度各製薬会社に確認する。
- 医薬情報担当者は、毎朝、公的機関（国内、米国）の安全性情報、学術情報をウェブサイト、メール等でチェックする。

➤ 得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対する周知

【周知方法を具体的に記入】

- 「緊急安全性情報」、「医薬品・医療機器等安全性情報」が発出された場合、薬事委員を通じて各診療科へ電子メールにて配信し、院内の電子掲示板、電子カルテへ掲載し全職員へ周知する。必要に応じて別途お知らせを作成し配布する。薬剤部へは連絡用グループアドレスを用いて情報共有を行う。
- 「医薬品安全対策情報(DSU)」、「使用上の注意の改訂指示」が発出された場合、当院取り扱い品目に限り商品名を併記し、サマリーを追記した上で薬事委員へ電子メールにて案内を行い、同時に薬剤部員へも連絡する。
- 必要に応じて、全部署、全診療科に向けたインフォメーションの発出、院内イントラネット掲示板、電子カルテへ掲載、薬事委員、薬剤部員へメール配信する。
- 特に安全面で影響が大きいと考えられる事例では、場合により患者を検索し薬事委員や専門医に連絡を取り対策を検討し、薬剤部員への情報共有をおこなう。

## 改善のための方策（病院独自で取り組んでいる内容）

## &lt;内外用薬&gt;

## 【処方入力における対策】

- ・ 「薬剤名（力価）」で表示される薬剤（散剤）の入力単位を「mg」に統一し、製剤量入力を防止している
- ・ 麻薬処方を「セット登録」し、そこから処方入力を行うことで、必要なコメントや一般的な用法が間違いなく、処方欄に展開することが可能となり、処方の不備を防止している
- ・ 体重当たりの投与量指示を目的とした定型コメントを登録することで、処方時、簡便かつ正確にコメント入力ができるようにしている。

## 【調剤における対策】

- ・ ハイリスク薬（糖尿病（内服・インスリン）、抗がん剤、ワルファリン製剤、ジゴキシン製剤、テオフィリン製剤、抗血小板製剤：全 208 薬品）に関しては、バーコードを用いた認証システムを用いた調剤を行っている
- ・ ハイリスク薬が処方された場合、処方せんに前回処方内容および過去約 1 ヶ月の処方歴が印字させる監査支援システムを構築している
- ・ 糖尿病薬の錠剤は毎日出納管理を行い、調剤ミスが発生していないかを確認している
- ・ 同日同科処方情報を処方せん上に印字することで、処方の重複を防止している。また同種同効薬の重複処方がないか確認を行っている。
- ・ 小児薬用量を小児科と協議し設定することで、処方せん上に処方チェックエラーが表示されるようにしている
- ・ 調剤と調剤監査の間に薬剤の照合監査（調剤された薬剤が間違っていないか確認する）を行っている。

## 【患者指導時の対策】

- ・ ハイリスク薬の患者指導は既に一部のハイリスク薬（ワルファリンの用量変更時、麻薬の受け渡し時、サレド、レブラミド受け渡し時）については対面指導を行っている。レキップ、レキップ CR、ニュープロパッチ、ミラペックス、ビ・シフロールについて対面指導を実施。
- ・ 吸入薬、イメンドカプセルなど\*が始めて処方された患者へ服薬指導を行っている

\*：ピレスパ錠、アフィニトール錠、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬、エリザス点鼻粉末、サルコートカプセル外用

## &lt;注射薬&gt;

## 【処方入力における対策】

#### (一般注射)

- ・ 在宅 IVH 処方（院外処方）は、オーダリング化による処方発行の簡素化や処方内容の自動チェックにより、未然に処方ミス防止するシステムを構築している
- ・ 薬剤マスターに登録できる単位は使用頻度の高い最大 3 つとし、一目で使用したい単位が判別できるようにしている（単位選択ミスの防止）
- ・ 免疫抑制剤など mg の単位で処方オーダーをする注射薬は「単位」の初期設定をアンプルやバイアルから「mg」へ変更し、オーダー時の規格間違えを防止した。

#### 【調剤・調製における対策】

- ・ 小児 3 病棟についてはすべての注射薬、ICU は 250mL 以上、その他一般病棟においては 500mL 以上の Rp. の混合調製を行っている
- ・ 個人別取り揃えの鑑査には厚労省が薦めている医療安全を目的とした医薬品バーコード（RSS コード）を用いて、部門システムによるバーコード認証を行っている
- ・ 投与時間に注意する必要がある薬剤や配合変化の多い薬剤、調製後薬剤の保管条件などを処方せんに印字し、適切な処方鑑査・薬剤搬送ができるようにしている
- ・ 調製後の鑑査、調製済薬剤の患者確認など部門システムで印字させたバーコードを用いて認証している。さらにこのバーコードは病棟における患者投与時の認証にも使用できる

#### 【払い出し時・投与時の対策】

- ・ 注射薬の払い出し時には、RSS コードと請求データのバーコードをそれぞれ認証することにより、払い出しミスを防止するシステムを構築している
- ・ 特定生物由来製品の投与時にはロット入力を必須とすることで、確実なロット管理を可能としている

#### <内外用・注射共通>

- ・ 規格・適応が複数ある薬剤は薬剤名に(含量注意)や(適応名)を追加することにより、薬剤選択ミスを防止している
- ・ 臨床検査値情報を処方せんに印字させ、検査値により用量調節が必要な薬剤の確認を行っている（PT-INR、腎機能など）
- ・ 電子カルテシステムにアドオンする処方チェックシステムである DICS-PS を導入し、処方確定時にエラーやワーニングなどの各種チェック機能を以前より強化した。
- ・ 処方入力時は 3 文字以上入力しないと薬剤がリストアップされないようにし、薬剤選択ミスを防止している

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年14回
研修の主な内容： 人工呼吸器 人工心肺装置及び補助循環装置 除細動器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 診療用高エネルギー放射線発生装置 診療用放射線照射装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
計画の策定 (有・無) 保守点検の主な内容： ○臨床工学技士による点検； 除細動器、一部人工呼吸器 ○業者委託による保守点検； 人工呼吸器、人工心肺装置及び補助循環装置、血液浄化装置 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置 閉鎖式保育器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) その他の改善のための方策の主な内容： (1)院内におけるインシデント報告の内容の分析及び報告 (2)医薬品医療総合機構(PMDA)及び日本医療機能評価機構からの安全情報の確認と周知 (3)医療機器メーカーからの安全性情報の確認及び周知	